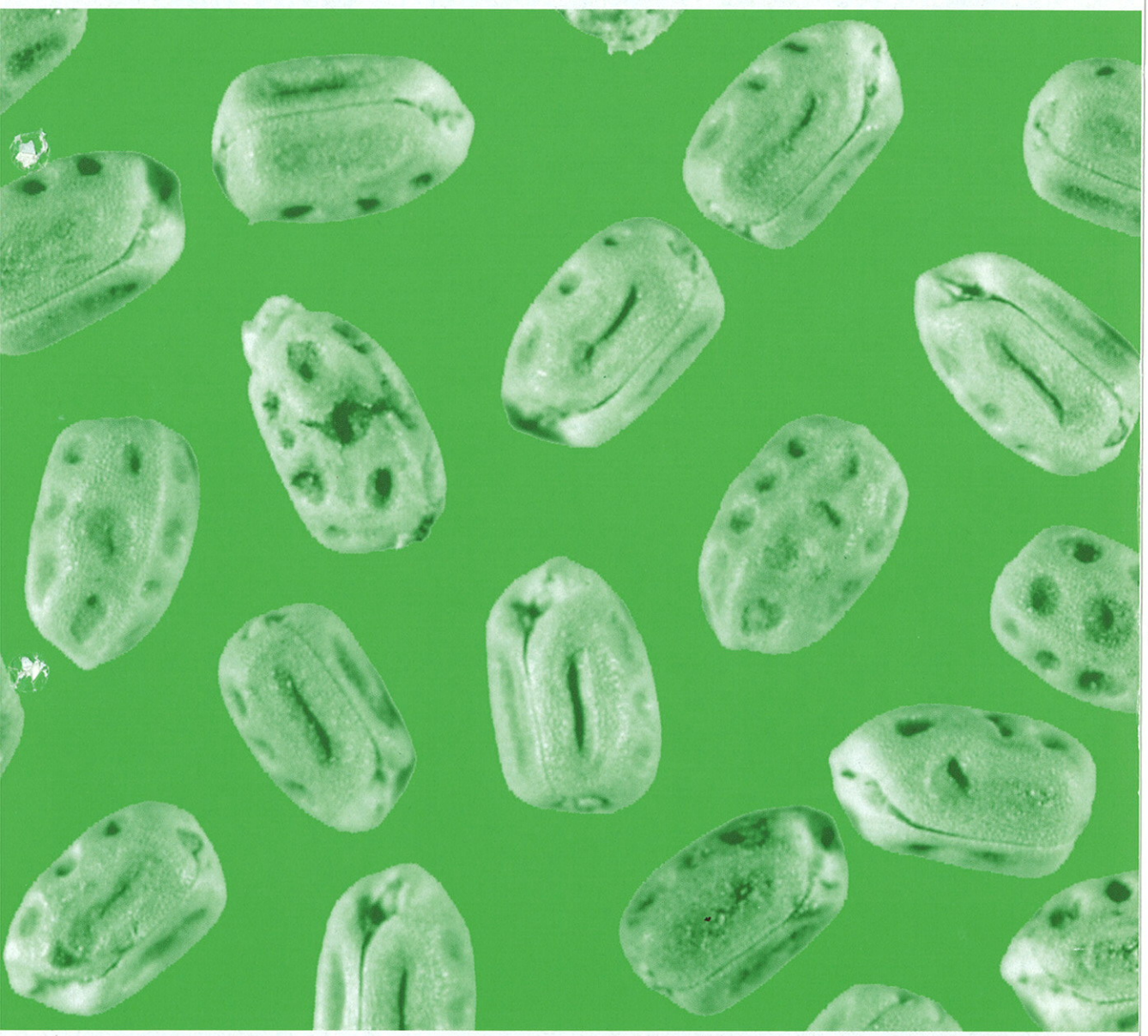
ISSN 0289-8233

植調

第45巻第11号



チャボタイゲキ（*Euphorbia peplus* L.）長さ1.5mm

財団法人　日本植物調節剤研究協会編
http://www.japr.or.jp/

より豊かな農業生産のために。
三井化学アグロの除草剤

クサトリーDX ジャンボH®/L® 1キロ粒剤75/51 フロアブルH/L
シロノック® 1キロ粒剤75 H/Lフロアブル H/Lジャンボ
MICシロノック® 1キロ粒剤51
ラクダープロ フロアブル・Lフロアブル 1キロ粒剤75/51
クサトッタ® 粒剤 1キロ粒剤
MICスラッシャ® 粒剤 1キロ粒剤
イネキング® 1キロ粒剤 ジャンボ フロアブル
イネ王国® 1キロ粒剤
イネエース® 1キロ粒剤
シング® 乳剤
MICスウィープ® フロアブル
MICザーベックスDX 1キロ粒剤
クサファイター® 1キロ粒剤
フォローアップ® 1キロ粒剤
草枯らしMIC®

三井化学グループ
三井化学アグロ株式会社
東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
ホームページ http://www.mitsui-agro.com/

BAYER

イノーバ®
トリオ
1キロ粒剤51

3成分で、
田植えと同時に
一発除草。

楽に、一発。
水稲用初・中期一発除草剤

Bayer CropScience
バイエルクロップサイエンス株式会社
www.bayercropscience.co.jp
お客様相談室：0120-575-078
(9:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝日をのぞく)
®はバイエルグループの登録商標

● SU抵抗性雑草に高い効果
● ノビエ2.5葉期まで可能

田植同時に最適

巻頭言

「中高年の振り返り」

(財)日本植物調節剤研究協会　評議員
バイエルクロップサイエンス㈱
営業・マーケティング本部　技術部・開発グループ
早川秀則

中高年に人気が高いスポーツに，水泳と登山があります。今や，中高年の真っ只中にいる私にとって，これらのスポーツはなくてはならない大変重要なツールとなっています。

登山との出会いは今から38年前，高校でのワンゲルに始まります。その頃の合宿といえば特大のキスリングに30kg以上の荷を詰めて縦走，ただただ足元だけを見つめての山歩きでした。とはいえ，梅雨明けの雷に襲われた飯豊連峰，来る日も来る日も快晴に恵まれた南アルプス南部などの山行や天上のお花畑は，今でも忘れ得ぬ想い出となっています。

縦走ともなると，特大のキスリングには，当時，特段に重かった布製の天幕やポール一式，大鍋にホエブス（コンロ），白ガソリン，水や肉・野菜・米等の食料，雨具や防寒具，シュラーフ等々の装備が山ほど収まり，これらを担ぐために可也ハードなトレーニングが不可欠でありました。

特に応えたのは，放課後校舎の階段で肩にクラブメイトを乗せて1階から屋上まで上り下りを繰り返したことや，丹沢大倉の水無川の河原でザックに石を詰めて塔ノ岳まで大倉尾根（通称バカ尾根）をひたすら登ったことなどで，35年以上を経ても尚当時の記憶が頭とは別の体のどこかに残っています。

その結果，30代後半に入って酷い腰痛に襲われることとなり，遂に椎間板ヘルニアとの共同生活が始まりました。以前は朝起きて着替えをしようにも前屈みができないため，自分で靴下を履くこともできない時期がありました。今でも，普段より強い痛みが出た時には横向きで体を丸めて休むことがあります。

実は20代の頃から水泳を始めてはいたのですが，結婚や引越しに伴い中断となり，どうもこれがたたったのかもしれません。腰痛との闘いのため再び水泳を始めたのが41歳の時。

以来，今日まで通い続けることとなりました。スポーツクラブのプールでは若い人は余り多くなく，女性方を中心として中高年の皆さんが実に活き活きと泳いでいらっしゃいます。もっとも，私にとっての水泳は腰周辺の筋肉を鍛えて腰痛を予防することが目的であり，水泳というよりは”湯治”のようなものです。

さて，持病の腰痛を気にしながらも，一方で若い時に酷使して軟骨が磨り減った膝を騙し騙し，実は昨年から山歩きを再開しました。こちらもまた，中高年ブームが健在です。

ピークの高さよりも適度なアプローチの山を選び，腰と膝が悲鳴を上げる前に下山するという，自分だけの計画を立てながら楽しんでいます。かつて登ったなつかしい山との出会いもまた，今更ながら山を目指す動機となっています。更には，これまで山に登りたいなどと言うことがなかった家族が，山に連れて行ってと言い出したり，思いがけない出来事に驚かされたりもしています。とはいえ，家内と娘二人の家の中では，いつも一人浮いているのがこの中高年の日常なのですが。

2011年の大災害から1年を目前にして，未だ多くの方々が不便な生活を強いられていることに思いを馳せ，己の足で大地を踏み山稜の景観を堪能できることに心から感謝します。皆様と共に半歩ずつでも前進できますよう願いを込めつつ，今年もまた地道に一山一山越えることを目標にしたいと思っています。

目　　次

(第 45 巻 第 11 号)

巻　頭　言
「中高年の振り返り」 …… 1
<(財)日本植物調節剤研究協会　評議員
バイエルクロップサイエンス㈱
営業・マーケティング本部　技術部・開発グループ
早川秀則>

環境保全型農業と除草剤(農薬)の新たな生態リスク評価法 …… 3
<(独)農業環境技術研究所　有機化学物質研究領域
永井孝志>

水稲用除草剤の河川流域における挙動予測モデル(PADDY-Large)の開発 …… 13
<(独)農業環境技術研究所　稲生圭哉>

里地里山の多様な環境と「農の営み」がスミレ類を維持している …… 22
<全国農業協同組合連合会　岩手県本部　武田眞一>

平成23年度　水稲作関係除草剤試験判定結果… 30
<(財)日本植物調節剤研究協会>

「話のたねのテーブル」より
パパイアは原産地の名前の1つから…… 130
<鈴木邦彦>

環境保全型農業と除草剤(農薬)の新たな生態リスク評価法

(独)農業環境技術研究所 有機化学物質研究領域 永井孝志

1. はじめに

近年，農薬等の不適切な使用によって生物多様性が劣化する可能性が指摘されるようになった。このような生物多様性の劣化への懸念に基づき，農林水産省では環境保全型農業として農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業を推進している。これまで，約5割の農業者が「土づくり」,「化学肥料の低減」,「農薬の低減」のような何らかの環境保全型農業に取り組んでいると報告されている[1)]。

その一方で，農林水産省[1)]によると，

・環境保全型農業の取り組み効果を定量的に表す科学的な指標が未開発であることなどから，環境保全型農業の推進による生物多様性の保全効果に関する知見が十分蓄積されていない

・当面の間は農薬の使用量を指標として目標を設定することが適切である。しかし，生物多様性の保全については評価方法の確立を加速化することが望ましい

と，生物多様性の保全効果の定量的な評価が課題であると提起されている。すなわち，現時点では，農薬を減らしたことによってどの程度生態リスクを減らすことができたかは不明となっている。

現在の環境保全型農業においては，例えば慣行の栽培体系に比べて（化学合成）農薬の使用を5割低減することによって，特別栽培という表示が可能となる。このように，現時点の環境保全型農業では，農薬使用量（使用回数）の低減が優先的に行われているが，この科学的根拠は薄弱である。使用する農薬の種類毎にそれぞれリスクの大きさは異なり，また同じ農薬であっても使用方法や流出防止対策などによりリスクは変化する。ところが，現状では農薬は使用回数のみで評価されるため，どんな農薬をどう使おうと同じ一回とカウントされる。生産現場では農薬の使用をなるべく減らす努力を行っているが，例えば種子消毒などの残留も少なく環境中への流出もない，つまり一番農薬使用のリスクが低いと考えられる使用方法から減らしている例もある。よって，農薬を減らす努力がそのままリスクの低減に貢献するとは限らない。

そもそも生態系保全を目的とした場合，低減の対象は「農薬使用量」ではなく，農薬使用に伴う「生態リスク」でなければならない。過剰な減農薬の推進は農業生産のリスクを増大させるため，本来の環境保全型農業の目的である「持続的な農業生産」と矛盾する。したがって，「農薬の使用量を減らす」,「より低毒性の農薬に切り替える」,「農薬の流出防止対策をとる」などの様々な環境保全型農業の体系における，生物多様性の保全効果と農業の生産性を定量的に解析していく事が望ましい。このような情報が得られるようになれば，農業生産への負の影響を抑

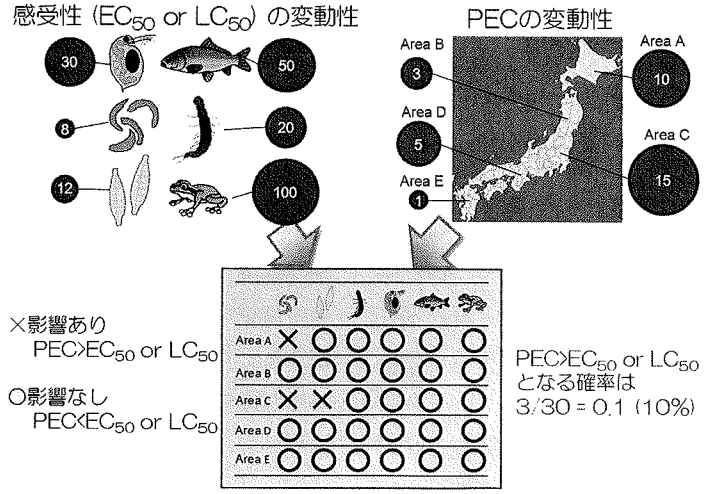
え，効率的にリスクを減らす対策を主体的に選択することが可能となる。そこで本稿では，農薬使用による生態リスクを防除体系毎に定量的に比較できるような新しいリスク評価方法について，筆者の研究等を紹介しながら解説を行う。

2. 現行の農薬の生態リスク管理制度とその問題点

農薬取締法に基づく「水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準（以下，登録保留基準）」が改正され，平成17年より農薬の水生生物に対するリスク評価に基づいた基準値の設定が順次進められている[2)]。現行の登録保留基準において，毒性の基準値（急性影響濃度又はAcute Effect Concentration, 以下AEC）は，魚類（メダカ又はコイ），ミジンコ（オオミジンコ），藻類（緑藻 *Pseudokirchneriella subcapitata*）のいわゆる「3点セット」の急性毒性試験結果によるLC_{50}（半数致死濃度）値もしくはEC_{50}（半数影響濃度）値を，それぞれの種間の感受性差に関する不確実係数（魚類と甲殻類は10，藻類は1）で除したものの最小値と設定される。また河川水の環境中予測濃度（Predicted Environmental Concentration, 以下PEC）はその算定のためのモデル流域における標準シナリオに基づいて，農薬使用時のピーク濃度として計算され，PEC〈AECであるときにリスクは懸念レベル以下であるので農薬として登録可能と判定される。

現行のリスク評価手法の問題点として，(1)リスクを定量的に表現できない，(2)不確実性が十分に考慮されていない，という二つの点が挙げられる。PEC算定のシナリオは架空の流域一つのみであり，地域差は考慮されない。このため，もっとPECが高い場所があることが懸念される。また，種間の感受性差の不確実性についても幅広い生物種を考慮したものになっていないことから，もっと感受性の高い種がいることが懸念される。そのような不確実性を考慮すると，場合によってはPEC〉AECになるかもしれない。

このような問題を解決するための手法が，確率論的リスク評価と呼ばれる手法である。これは，毒性や曝露などの様々な不確実性を確率的に表現し，PEC〉AECになってしまう確率はどのくらいかを定量的に評価する方法である。図－1に示した概念図では，生物種による感受性

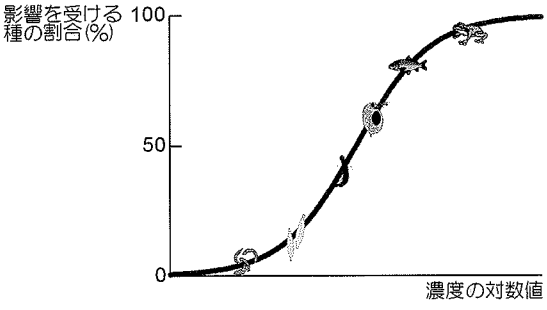


図－1　確率論的リスク評価の概念図

の変動性と，PECの地域差による変動性を考慮し，6生物種の感受性と5地域のPECを総当たりで評価した場合のPEC>EC_{50}になってしまう確率を表している。30通りの組み合わせのうち，3つの組み合わせでPEC>EC_{50}，すなわち影響ありとなってしまうので，影響を受ける確率は3/30 = 10%という事になる。この確率の大小によって，生態リスクの大きさを相互比較できることになる。このような確率論的リスク評価の応用例として，北米における除草剤アトラジンの生態リスク評価[3]や，除草剤ジクワットの例[4),5)]が報告されている。

3. 種の感受性分布

化学物質などのストレス要因に対する生物の感受性は一般的に種によって異なり，その違いを統計学的に表現したものが，種の感受性分布（Species Sensitivity Distribution, SSD）である[6]。図－1に示したような確率論的にリスクを評価したい場合，幅広い生物種に対する毒性データが必要になる。しかしながら，全ての生物種に対する毒性試験を行って，毒性データを得ることは現実的には不可能である。一方，経験則により，多数の生物種の感受性は対数正規分布に適合することが知られており，図－2のように累積確率分布で表現できる。つまり，ある程度の数の毒性データが揃っていれば環境中濃度と影響を受ける種の割合の関係を推定して表現できることになる。これが種の感受性分布の基本的な考え方である。



図－2　種の感受性分布の概念図。6生物種の毒性値のバラツキを対数正規分布（図中の曲線）に適合させている。

SSDの活用方法は主に2種類ある。欧州などでは，SSDの5パーセンタイル値に相当する濃度（5%の種が影響を受ける濃度，逆に言えば95%の種が保護される濃度）をHC_5（5% Hazardous Concentration）と表現し，これを無影響濃度とすることで，水生生物保全のための水質基準値の設定の根拠として用いている。これは，95%以上の種を保護できれば，種の多様性には大きな影響は無い，という仮定に基づいている。このように基準値設定の根拠として活用するのが一つの方法となる。また，SSD法は生態系への影響を濃度との関数として表すことができるので，定量的なリスク評価方法として有用である。農薬の環境中予測濃度（PEC）がわかると，影響を受ける種の割合が計算できる。この指標は，生物多様性（種の多様性）にどれだけ影響があるか，という定量的な「生物多様性影響度指標」として位置づけることができる。これがもう一つの活用方法である。

SSDの他国における活用事例を紹介する。米国においては，SSDの5パーセンタイル（HC_5）から水生生物保全のための水質基準値を導出している[7]。例えば除草剤アトラジンの例では，17種類の水生動物の急性毒性の試験データを解析し，その5パーセンタイル値が3021 μg/lと計算され，それを2で割ったもの（1500 μg/l）が急性影響の基準値と設定された[8]。オランダや，オーストラリアとニュージーランドにおいても，同様にHC_5を環境基準値の導出に利用している[9),10)]。EUの生態リスクアセスメントでの

利用では，HC_5を生態系に対する無影響濃度として，PECとの大小を比較してリスクを評価している[11]。HC_5の値を無影響濃度とすることの妥当性については，隔離実験水界を用いた模擬生態系試験（メソコスム・マイクロコスム試験）によって，様々な除草剤について安全側な評価となることが確認されている[12]。

SSDは安全レベルを決めるための応用のみならず，リスクの定量化に応用した事例も報告されている。100種類以上の農薬のリスクを定量化してランク付けを行った例[13]や，さらにそれらのリスクを統合化して野外生物調査の結果と比較した例[14]などがこれまであり，影響を受ける種の割合が10%を超える地点で生物相の変化が確認されている[14]。

SSD法の特徴として，(1)定量的である，(2)予測に利用できる，(3)幅広い生物を対象としている，(4)時間やコストがあまりかからない，などが挙げられる。環境保全型農業の生態リスク低減効果を評価することを目的としたい場合，これらの4つの条件を満たすことは必須である。まず，定量的でなければ慣行防除体系と環境保全型防除体系のリスクを比較できない。次に，リスクを事前に予測できなければ「やってみなければわからない」となってしまい，効率的ではない。さらに，単一の生物種（多くの場合，愛好家がたくさんいる種）に注目しすぎると，特定の生物のみを過剰に保護する一方で，注目されない生物への影響が無視されてしまうという危険性がある。ある生物にとっては良い対策でも，違う生物にとっては悪影響となるかもしれない。最後に，評価に必要となる時間やコストも無視できない。多数の農薬を横並びで評価してリスクを比較する場合，詳細すぎるリスク評価は時間とコストがかかりすぎて実用的に利用できない。利便性と詳細さのバランスを考慮する必要がある。

野外で生物調査を行う手法では(2)と(4)を達成できず，室内試験によるバイオアッセイは(3)を達成できない。また，メソコスムと呼ばれる野外の隔離水界実験は(4)が達成できない。SSD法を用いることによって，農薬を減らすなどの環境保全対策を策定した場合に，事前に様々な管理対策オプションの効果を事前に予測して，費用対効果の高い対策を選択していくことが可能となる。評価手法もシンプルで簡便であり，リスク指標も「影響を受ける種の割合」というわかりやすいものである。しかしながら，SSD法にもいくつかの欠点があり，様々な仮定や推測に基づいたものであることや，長期的影響や生物間相互作用を考慮しないなど，実際の生態系からは離れた評価である。このように，メリット・デメリットがあることを理解したうえでSSDを活用することが必要である。SSD法は様々な問題点を含むものの，生物多様性を考慮して影響を定量化でき，さらに活用の場面が広いという条件を満たす方法としては，現時点では最も有効な方法であると考えられる。

4. 除草剤の生物多様性への影響に関する確率論的リスク評価手法

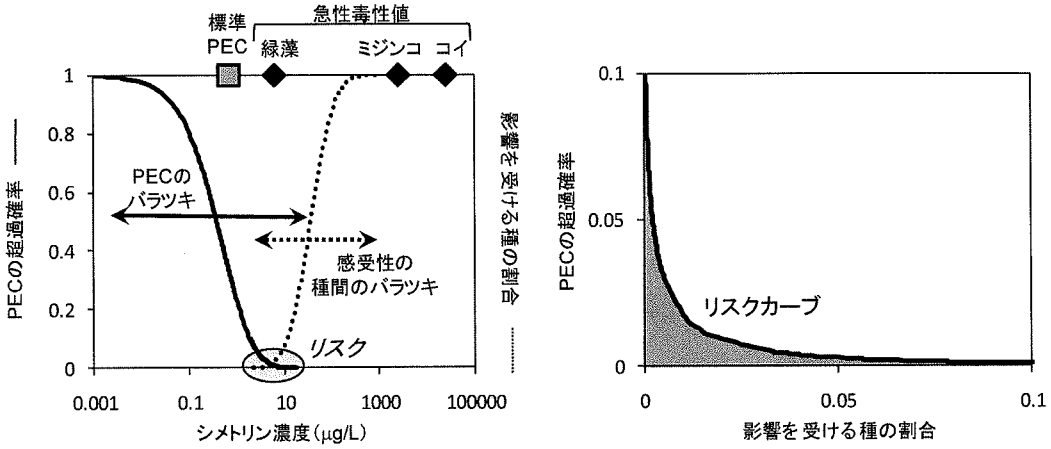
近年筆者らは日本で使用されている水稲用除草剤を対象として，確率論的リスク評価を行ってリスクを定量的に比較した[15,16]。これらのリスク評価の基本的な考え方として，急性毒性試験をベースとしたEC_{50}又はLC_{50}値と農薬使用時のピーク濃度に相当するPECの比較によりリスクを評価する手法を適用している。すなわち，EC_{50}又はLC_{50}値を超えた曝露を受けた場合に「その種は農薬による影響を受けた」と定義し，

急性毒性試験をベースとしたSSDと曝露濃度から計算した「影響を受ける種の割合」を定量的なリスク指標とした。

曝露評価では，環境省が定めたPECの計算モデルをベースとして，PECが全国の地域毎にどの程度ばらつく可能性があるのかをモンテカルロシミュレーションを用いて解析した（図－3)。すなわち，まずPEC算定に必要なパラメータ（水田面積，河川流量，農薬の普及率など）が地域的にどの程度ばらつくかを解析し，それぞれを確率分布として表現した。次に，各パラメータの分布からランダムサンプリングされた値を用いてPECを算定する，という過程を10000回繰り返した。この結果得られたPECの分布は地域的なPECのばらつきを表している。

PECの地域分布と感受性の分布（SSD）から，確率論的にリスクを定量化できる。実際に水稲用除草剤のシメトリンのデータを用いて解析した例を図－4に示す。まず，PECのモンテカルロシミュレーションの結果から，PECの超過確率を（1-PECの累積確率密度）で求め，それをSSDと重ね合わせた（図－4左)。そこから，ある割合の種が影響を受ける濃度レベルの超過確率をリスクカーブとして表した（図－4右)。この例では，1%の種が影響を受ける確率は1.8%，5%の種が影響を受ける確率は0.3%，10%の種

図－3　モンテカルロシミュレーションによるPECの分布計算の概念図



図－4　除草剤シメトリンを例にした，PECの分布とSSD（左図），とリスクカーブ（右図)。右図のリスクカーブの下の部分（塗りつぶした部分）の面積は0.04%となり，これは全国平均的に影響を受ける種の割合と意味付けられる。参考として標準シナリオで計算したPECと標準試験生物3種のEC50（緑藻，ミジンコ)，LC50（コイ）を示す。

が影響を受ける確率は0.1%などと計算された。さらに，リスクカーブの下の面積を計算すると，全国平均的にどの程度の割合の種が影響を受けるか，というリスクの定量的な指標とみなすことができる。リスクの地域毎のばらつき加減を見たい場合には，リスクカーブによるリスクの表現が適しており，リスクを一つの数字にまとめて比較したい場合には面積による表現がわかりやすい。また，筆者らはデータの質・量がバラバラな11種の除草剤の生態リスクを横並びで評価できるように評価手法に改良を加え，リスク比較を行った[16]。このような情報は，対策の優先順位付けや，使用する除草剤を選定する際の参考として活用することができる。

5. 環境保全型農業における定量的リスク評価の活用方法

環境保全型農業における定量的リスク評価の活用方法の具体例なイメージを以下に示す。慣行防除体系と二つの環境保全型防除体系のイメージを図－5に示す。このとき，慣行防除体系では8回農薬を使用し，環境保全型防除体系1ではそのうちの3剤のみを使用，環境保全型防除体系2では別の5剤を使用している。回数だけで考えれば，環境保全型防除体系1〉環境保全型防除体系2〉慣行防除体系の順で環境保全効果が高いことになる。

ここで，SSDを用いて農薬成分毎にリスク評価を行い，そのリスクの大きさから農薬を4段階に分けて，使用回数に重み付けを行う場合を想定する。最もリスクが低い農薬を☆☆☆として，使用回数を0.1回相当とする。次にリスクが低い農薬を☆☆として，使用回数を0.3回相当とする。その次にリスクが低い農薬を☆として，使用回数を0.7回相当とする。最もリスクが高い農薬は無印として使用回数を1回相当とする（図－6）。こうして，重み付けを行った後の使用回数の合計を環境保全効果の指標とする。この場合は，環境保全型防除体系2〉環境保全型防除体系1〉慣行防除体系の順で環境保全効果が高いことになる。環境保全型防除体系2は，農薬の使用回数は環境保全型防除体系1よりも多いが生態リスクはむしろ少なく，環境保全効果が高い体系であると評価される。また，複数の農薬による複合影響を考慮したリスクの累積評価も可能である。

このように，「減らすべきは農薬ではなく農薬使用に伴うリスクである」という原則を基に，このリスクの大きさを考慮して農薬使用回数に重み付けがなされるようになると，環境保全効果

図－5　慣行防除体系と二つの環境保全型防除体系の概念図

慣行防除体系	環境保全型防除体系1	環境保全型防除体系2
農薬A	農薬A	農薬D
農薬B	農薬B	農薬E
農薬C	農薬C	農薬F
農薬D		農薬G
農薬E		農薬H
農薬F		
農薬G		
農薬H		
計　8回	計　3回	計　5回

図－6　慣行防除体系と二つの環境保全型防除体系の，
リスクによる重み付け後のイメージ

慣行防除体系			環境保全型防除体系1			環境保全型防除体系2		
農薬 A	★	0.7	農薬 A	★	0.7	農薬 D	★★	0.3
農薬 B		1.0	農薬 B		1	農薬 E	★★★	0.1
農薬 C	★	0.7	農薬 C	★	0.7	農薬 F	★	0.7
農薬 D	★★	0.3				農薬 G	★★	0.3
農薬 E	★★★	0.1				農薬 H	★★★	0.1
農薬 F	★	0.7						
農薬 G	★★	0.3						
農薬 H	★★★	0.1						
計　8回		3.9	計　3回		2.4	計　5回		1.5

を定量的に示すことができる，生産現場への影響を最小限に抑えられる，などのメリットが生じる。リスクの大きさを定量化することで，ある農薬を減らした結果，元のリスクがどの程度でそこからどの程度リスクが下がったかが明確になり，環境保全効果をよりアピールしやすくなる。また，やみくもに農薬を減らして生産効率を下げるよりも，より低リスクの農薬に切り替えて流出防止対策を徹底することでリスクを下げることができ，農業生産の安定化と環境保全対策が両立する方向を探ることができる。

農業生産の現場で，定量的リスク評価を活用するための場面をまとめたが，それを実現するためには，いくつかの課題も残されている。その一つに，簡便なリスク評価ツールの開発・普及が挙げられよう。各農業団体や，地域の防除体系や使用農薬を選定する都道府県の農業試験場やJAなどの農家を指導する立場の人が，リスクの大きさをもとに農薬を選定できるようなツールを整備する必要がある。今後，このような課題への取り組みの推進が期待される。

6. おわりに

農薬は様々な安全性に関わる審査を経て初めて登録され使用可能となるが，これはゼロリスクを意味するものではない。ただし，リスクはゼロではないが程度というものがあり，リスクがあることを認めつつもリスクの程度をなるべく低く抑えることはできる。こう考えることで，農薬を使いつつリスクを下げる，という選択肢がはじめて生まれてくる。そもそも，安全か危険かの二分法の考え方の下では，「登録を受けた農薬は安全である」，ということと「環境保全型農業を推進して農薬を低減する」，ということが矛盾してしまう。

絶対安全を主張するようなリスク管理の誤りは，東日本大震災後に起こった原子力発電所の事故によって改めて明らかになった。放射線の影響を巡っては，安全か危険かの二分法的な対立によって社会は混乱を極めた。放射線の影響に閾値があるかどうかは科学的には決着がついていないが，現状で科学ではわからないからこそ，閾値はないという安全側の仮定に乗っ取ってリスクを定量的に扱い，リスクの程度に応じて対策をとっていくような管理をする以外に現時点での道筋はない。

では，どのようなリスクの程度を「安全」とみなすのか？この質問に「科学的な」答えは存在しない。なぜならこれは「何をもって安全とするか」という合意形成の問題であり，リスクの

種類によっても「安全」の定義は異なり，時には国や文化によっても異なるだろう。相対的なリスク比較によって「安全」が決まることもあるし，そうでない場合もある。いずれにせよ，リスクの程度がわかっていなければ，そもそも建設的な合意形成は不可能である。程度がわずかであってもリスクの存在を認めることはタブー視されることが多く，勇気が必要なことではあるが，今こそそのようなリスクの定量的な評価と地道な合意形成が必要とされるのではないだろうか。

7. 参考文献

1)農林水産省 (2008)「今後の環境保全型農業に関する検討会」報告書

2)環境省 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について. http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun.html

3)Solomon KR, Baker DB, Richards RP, Dixon KR, Klaine SJ, La Point TW, Kendall RJ, Weisskopf CP, Giddings JM, Giesy JP, Hall Jr LW, Williams WM (1996) Ecological risk assessment of atrazine in north American surface waters. Environ Toxicol Chem, 15, 31-76

4)Ritter AM, Shaw JL, Williams WM, Travis KZ (2000) Characterizing aquatic ecological risks from pesticides using a diquat dibromide case study. I. Probabilistic exposure estimates. Environ Toxicol Chem, 19, 749-759

5)Campbell KR, Bartell SM, Shaw JL (2000) Characterizing aquatic ecological risks from pesticides using a diquat dibromide case study. II. Approaches using quotients and distributions. Environ Toxicol Chem, 19, 760-774

6)Posthuma L, Suter GW, Traas TP (2002) Species Sensitivity Distributions in Ecotoxicology (Environmental and Ecological Risk Assessment), Lewis Publishers, CRC Press.

7)U.S. EPA (1985) Guidelines for deriving numerical national water quality criteria for the protection of aquatic organisms and their uses. U.S. Environmental Protection Agency.

8)U.S. EPA (2003) Ambient aquatic life water quality criteria for atrazine, revised draft. U.S. Environmental Protection Agency, EPA-822-R-03-023.

9)RIVM (2001) Guidance document on deriving environmental risk limits. National Institute of Public Health and the Environment.

10)ANZECC (2000) Australian and New Zealand guidelines for fresh and marine water quality. Australian and New Zealand Environment and Conservation Council.

11)ECB (2003) Technical guidance document on Risk Assessment. Part II Environmental risk assessment. European Chemical Bureau.

12)van den Brink PJ, Blake N, Brock TCM, Maltby L(2006) Predictive value of species sensitivity distributions for effects of herbicides in freshwater ecosystems. Hum Ecol Risk Assess, 12, 645-674

13)de Jong IH, van Zelm R, Huijbregts MAJ, de Zwart D, van der Linden TMA, Wintersen A, Posthuma L, van de Meent D (2008) Ranking of agricultural pesticides in the Rhine-Meuse-Scheldt basin based on toxic

pressure in marine ecosystems. Environ Toxicol Chem, 27, 737-745

14)de Zwart D (2005) Ecological effects of pesticide use in the Netherlands: modeled and observed effects in the field ditch. Integr Environ Assess Manag, 1, 123-134

15)永井孝志，稲生圭哉，堀尾剛 (2008) 不確実性を考慮した農薬の確率論的生態リスク評価：水稲用除草剤シメトリンのケーススタディー. 日本農薬学会誌, 33, 393-402

16)永井孝志，稲生圭哉，横山淳史，岩船敬，堀尾剛 (2011) 11種の水稲用除草剤の確率論的生態リスク評価. 日本リスク研究学会誌, 20, 279-291

クログワイの悩み、スパッと解決。

クログワイ
学名:*Eleocharis kuroguwai* Ohwi
多数の芽を持つ塊茎を、土中深くに形成し、4～5年の寿命を持ちます。水田に水を入れた時から収穫時までダラダラと出芽する生態が、防除を困難にしている大きな要因です。

適用拡大でさらに使いやすく!

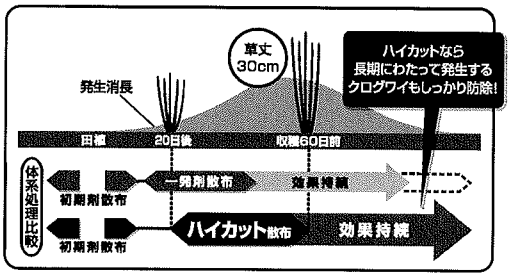
初期剤との体系で、クログワイもしっかり防除。
一発剤よりも遅い時期の散布で、徹底的にたたきます。

水稲用除草剤

ハイカット®
1キロ粒剤

●ノビエの3.5葉期まで防除
●SU抵抗性雑草にも有効 ●難防除雑草に卓効

【クログワイ防除の体系処理比較】



®は日産化学工業(株)の登録商標

日産化学工業株式会社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1(興和一橋ビル) TEL 03(3296)8141 http://www.nissan-agro.net/

水稲用除草剤の河川流域における挙動予測モデル(PADDY-Large)の開発

(独)農業環境技術研究所　稲生圭哉

1. はじめに

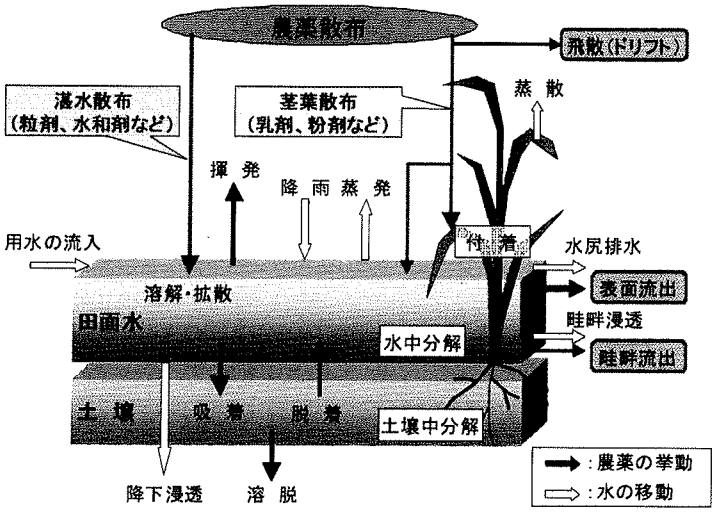
農耕地等で使用される農薬の大部分は土壌に達し，土壌中を移動・拡散しながらしだいに分解し消失するが，その一部が水系などへ移行し，飲料水源の汚染や生態系へ悪影響（一般に「環境リスク」という）を及ぼしているのではないかという懸念が強まっている。このような農薬による影響を評価するためには，「農薬の毒性」と「人や生態系を構成する生物が暴露する農薬濃度，以下，環境中予測濃度（Predicted Environmental Concentration, PEC）という」の両者を把握する必要がある。これまで農薬の環境中濃度の把握には，野外試験や環境モニタリングが実施されてきた。しかし，これらを実施するためにはかなりの費用，時間，労力を要し，また，得られた結果はある特定の農薬使用および環境条件におけるデータでしかなく，農薬の環境挙動およびそれを支配する要因を把握することは困難である。このような問題に対応するため，欧米では1980年頃より農薬の物理化学的性状，土壌の特性，気象要因等を用いて農耕地における農薬の挙動を予測する数理モデル(mathematical model）の開発研究が進められ[1-4]，現在では農薬登録時の環境リスク評価に活用されている。

筆者らは，水稲用農薬を対象とし，水田一筆における挙動予測モデル（PADDY）や河川流域における挙動予測モデル（PADDY-Large）を開発するとともに，モデル計算の妥当性について検証を行ってきた。本稿では，これらのモデルに関する開発状況について紹介する。

2. 水田一筆における挙動予測モデル(PADDY)

2.1 水稲用除草剤を対象とした挙動予測

水田で使用する農薬を対象とした河川流域における挙動予測モデル（PADDY-Large）では，水田一筆内での濃度予測が基本となる。水田では水稲栽培期間の大半を湛水状態にし，その排水が農業排水路を経由して河川に流入する。このため，水田は畑地に比べて農薬が表面流出しやすく，水稲を主要作物とするわが国では，水田からの農薬流出量を予測する数理モデルの必要性は非常に高い。わが国でも，ごく最近になり水田モデルの開発が進められてきており[5-9]，渡邉らが開発したPCPF-1モデル[5,6]や，筆者らが開発したPADDYモデル[8,9]などがある。図－1にPADDYモデルで考慮する水田一筆における水収支および農薬の挙動要因を示す。水稲用除草剤などの農薬製剤（粒剤など）を水田に湛水散布すると，製剤から農薬の有効成分が田面水に徐々に溶出する。溶出した農薬の大部分は土壌の表層へ吸着し，時間の経過とともに分解していくが，その一部が水尻排水や畦畔浸透に伴う流出，降下浸透に伴う土壌下層への移動，大



図－1　PADDYモデルで考慮する水田における水収支と農薬の挙動

気への揮発により圃場外へ移行する。PADDYモデルは，このような挙動要因を用いて水田における農薬の収支を数式（微分方程式）で表現し，田面水や土壌中の濃度変化および水田外への農薬流出量をコンピュータ上で計算する。

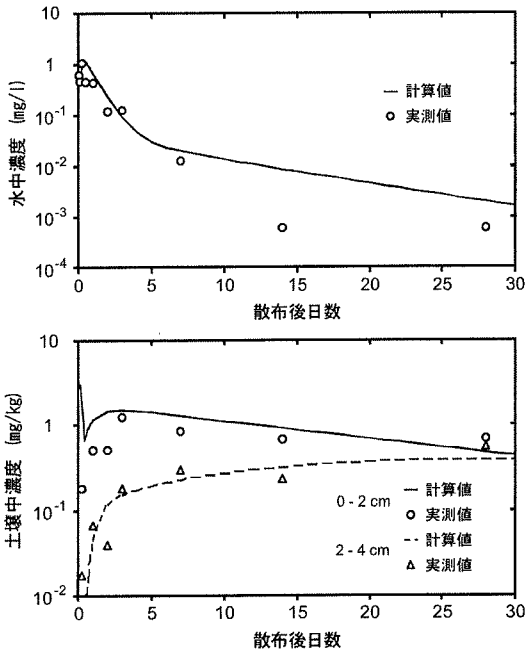
モデル計算に必要な入力データを表－1に示す。農薬の物理化学性のうち，土壌吸着性（土壌吸着係数）や土壌中での分解性（分解半減期）は，土壌の種類により大きく異なる。また，多くの農薬は非イオン性で水に溶けにくい性質を持つため，土壌への吸着は土壌有機物への疎水結合が主体である[10]。一般に，土壌中の有機炭素量が多いほど農薬の土壌吸着量が多くなる傾向を示すことから，農薬の挙動を予測する際に有機炭素含有率は重要なパラメータとなっている。

開発したPADDYモデルの検証を行うため，約8aの水田圃場において農薬濃度の推移をモニタリングした[8]。田植え10日後に中期除草剤のマメットSM粒剤（シメトリン1.5%，モリネート8%およびMCPBエチル0.8%）を3kg/10a

表－1　PADDYモデルで使用する入力データ

項　目	パラメータ
農薬データ	
使用条件	製剤の種類、使用量、散布方法など
物理化学性	分子量、水溶解度、蒸気圧
	ヘンリー定数、土壌吸着係数
	水中および土壌中での分解半減期
環境データ	
圃場条件	面積、田面水深、用水量、排水量など
気象条件	気温、降水量、日射量など
土壌条件	有機炭素含有率、仮比重、孔隙率など
栽培管理条件	水管理（止水期間、かけ流しの有無）など

で湛水散布し，経時的に田面水および土壌を採取し農薬濃度を測定した。また，試験期間中の田面水深，用水量，排水量，減水深および蒸発量を測定した。水田におけるシメトリンの実測濃度を図－2に示す。田面水中の濃度は，散布6時間後に最高濃度に達した後急速に減少したが，散布1週間後には減少が緩やかになった。土壌中の濃度は，0～2cmの土壌層では散布3日後に最高濃度に達し，その後徐々に減少した。一方，2～4cmの土壌層では散布後徐々に上昇し，30日後には0～2cmの土壌層における濃度と同程度になった。図－2に示すように，開発したPADDYモデルによる計算結果は，圃場試験で得られた田面水や土壌中における除草剤の濃度推移をほぼ再現することができた。



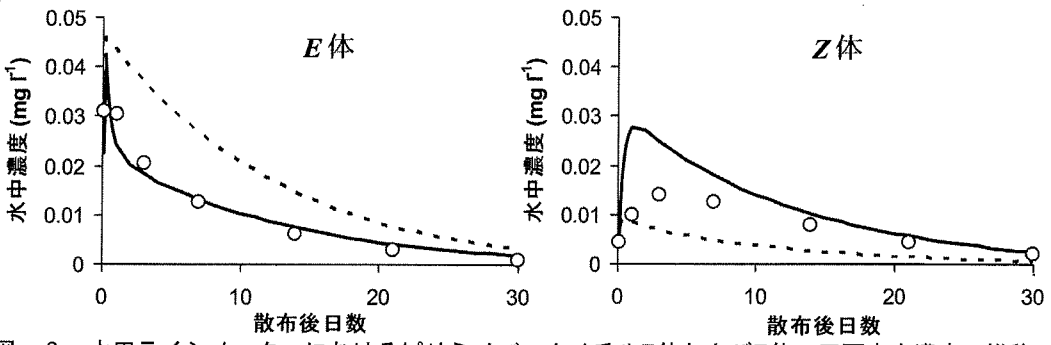
図－2　水田における除草剤シメトリンのPADDYモデルによる計算値と実測値の比較
上段：田面水中濃度、下段：土壌中濃度

2.2　最近の開発状況(PADDYモデルの改良)

これまでに開発された水田モデルでは，予測の対象は農薬成分（親化合物）のみであり，環境中で生成する代謝分解物の動態を予測できるモデルはほとんど開発されていない[4]。代謝分解物の中には親化合物と同等かそれ以上の生物活性（毒性）を有する場合や，環境中での残留性が高くなる場合も想定され，親化合物のみならず主要な代謝分解物の挙動予測は不可欠である。そこで，水田雑草のノビエに卓効を示す除草剤ピリミノバックメチルを対象とし，水田における光異性化および代謝分解を考慮した挙動予測が行えるようにPADDYモデルを改良した[11]。

ピリミノバックメチルは有効成分である2種類の幾何異性体（E体，Z体）の混合物であり，製剤中にE/Z＝約5/1の割合で存在するが，水中で光によりE体とZ体との間で異性化が速やかに起こる[12]。そこで，田面水中におけるE体とZ体間の異性化は，B領域紫外線（UV-B）により進行する可逆的な一次反応として表現した。また，ピリミノバックメチルは土壌中において微生物によりE体とZ体のそれぞれから生成される2種類の主要な代謝分解物（以後，「ME，MZ」と表現する）が認められている[13]。そこで，これらの土壌中における生成・消失過程を一次の逐次反応として表現した。これらの要因を既報のPADDYモデル[8,9]に適用し，田面水および土壌中におけるピリミノバックメチルE体，Z体および代謝分解物ME，MZの収支を微分方程式で表現することにより，水田におけるこれらの濃度変化を計算できるようにモデルを改良した。

改良したモデルの有効性を検証するため，2種類の水田土壌（火山灰土壌，沖積土壌）を充填した水田ライシメーターにおいて，ピリミノバックメチル0.3%を含む1キロ粒剤を湛水散布



図－3 水田ライシメーターにおけるピリミノバックメチルE体およびZ体の田面水中濃度の推移（沖積土壌）
○：実測値、――：計算値（光異性化あり）、- - - -：計算値（光異性化なし）

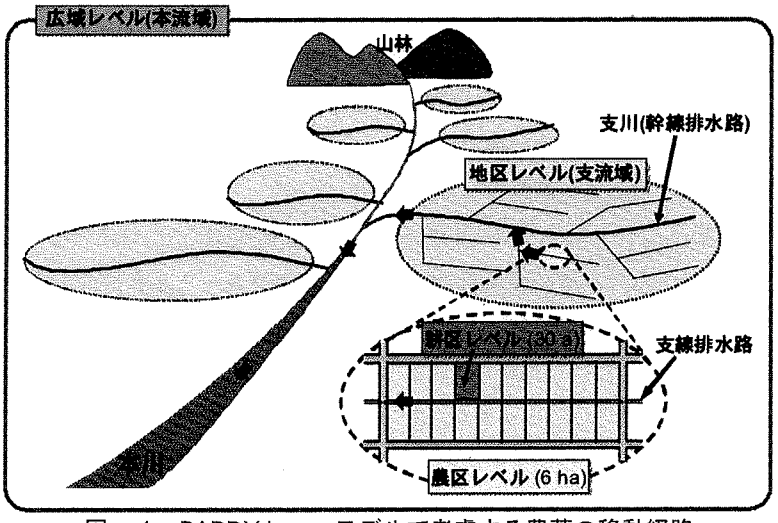
し，経時的に田面水中濃度を測定した[11]。図－3に示すように田面水中におけるＥ体の実測濃度は，散布直後に最高に達し，その後急速に減少したが，Ｚ体は散布後1～3日でピークに達したのち減少した。これは，製剤から田面水中に溶出したＥ体が，光異性化反応により速やかにＺ体に変化したことによると考えられた。これらの測定結果と光異性化反応を考慮していない既存のPADDY モデルによる計算結果を比較したところ，計算値は実測値に比べてＥ体では過大評価，Ｚ体では過小評価となった（図－3破線）。一方，光異性化反応を考慮した改良型PADDY モデルによる計算値は，散布後1週間以内にＺ体で若干の過大評価となったが，実測値の濃度推移を精度良く再現することができた（図－3実線）。

また，2カ所の水田圃場（火山灰土壌，洪積土壌）において，ピリミノバックメチル0.3%を含む1キロ粒剤を湛水散布し，経時的に土壌中濃度（表層10cm）を測定した[11]。洪積土壌におけるＥ体の濃度は，散布直後に0.014 mg kg^{-1}に達したのち急速に減少し，7日後には検出下限値未満（<0.005 mg kg^{-1}）となった。なお，Ｚ体は試験期間中検出されなかった。火山灰土壌におけるＥ体とＺ体の濃度は洪積土壌に比べて高く，減衰も緩やかであった。これらの測定結果と改良型 PADDY モデルによる計算結果を比較したところ，両土壌中におけるＥ体およびＺ体の計算値は実測値の濃度推移と良く一致した。一方，代謝分解物ME，MZの濃度は，試験期間中すべて検出下限値未満（<0.005 mg kg^{-1}）であったが，モデルによる計算値も最高で0.004 mg kg^{-1}程度であったことから，改良型PADDY モデルは土壌中で生成する代謝分解物についても予測可能であることが示された。

3. 河川流域における挙動予測モデル(PADDY-Large)

3.1 幹線排水路（支流域）における濃度予測

水田で使用する農薬の幹線排水路および河川における濃度を予測するため，図－4に示すように河川流域に分布する水田を農業水利の観点から，「耕区」，「農区」，「地区」，「広域」の4つのカテゴリーに分類した標準シナリオを設定した[14]。「耕区」は畦畔で囲まれた水田一筆を表し，圃場整備後の標準的な面積は30aである。一般的な「農区」は，20筆程度の耕区と支線排水路で構成され，農道で囲まれている（面積6ha）。

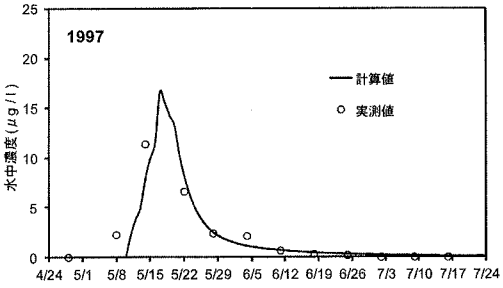


図－4　PADDY-Large モデルで考慮する農薬の移動経路

「地区」は，支流域内の水田排水を集水する幹線排水路（小河川）に沿って多くの農区が集まったものである。「広域」は，多くの幹線排水路が合流する比較的広い面積を持つ河川本流域を表す。PADDY-Large モデルでは，耕区からの水尻排水，農区内の支線排水路，地区内の幹線排水路，河川本川の順に農薬の濃度変化を計算する。

開発したモデルの検証を行うため，茨城県南部の水稲栽培地域（作付面積55ha）を流れる幹線排水路において，水稲用除草剤のモニタリングを４～８月にかけて実施した[14]。調査地域では４月下旬～５月上旬に田植えが行われていたが，除草剤は５月上旬に検出されはじめ，５月中旬にピークに達した後急速に減少し，７月下旬には検出されなくなった。モニタリング結果による除草剤メフェナセットの実測値と開発したモデルによる計算値を比較したところ，図－５に示すように，PADDY-Large モデルは幹線排水路における除草剤の濃度レベルおよび検出期間を精度よく予測することができた[14]。

また，長野県北部の水稲栽培地域（作付面積361ha）を流れる千曲川支流において，11種の水稲用農薬（代謝分解物３種を含む）を対象としたモニタリングを2001～2005年に実施した[15]。調査対象農薬の中には，除草剤に加え育苗箱処理や茎葉散布する殺虫剤，殺菌剤が含まれていたことから，これらの農薬の挙動予測が行えるようにPADDY-Largeモデルを改良するとともに，親化合物に加え代謝分解物の動態も予測できるように改良を行った[15]。育苗箱に処理された殺虫剤カルボスルファンは河川水中からほとんど検出されず，代謝分解物のカルボフランのみ検出された。田植え期前後に使用された除

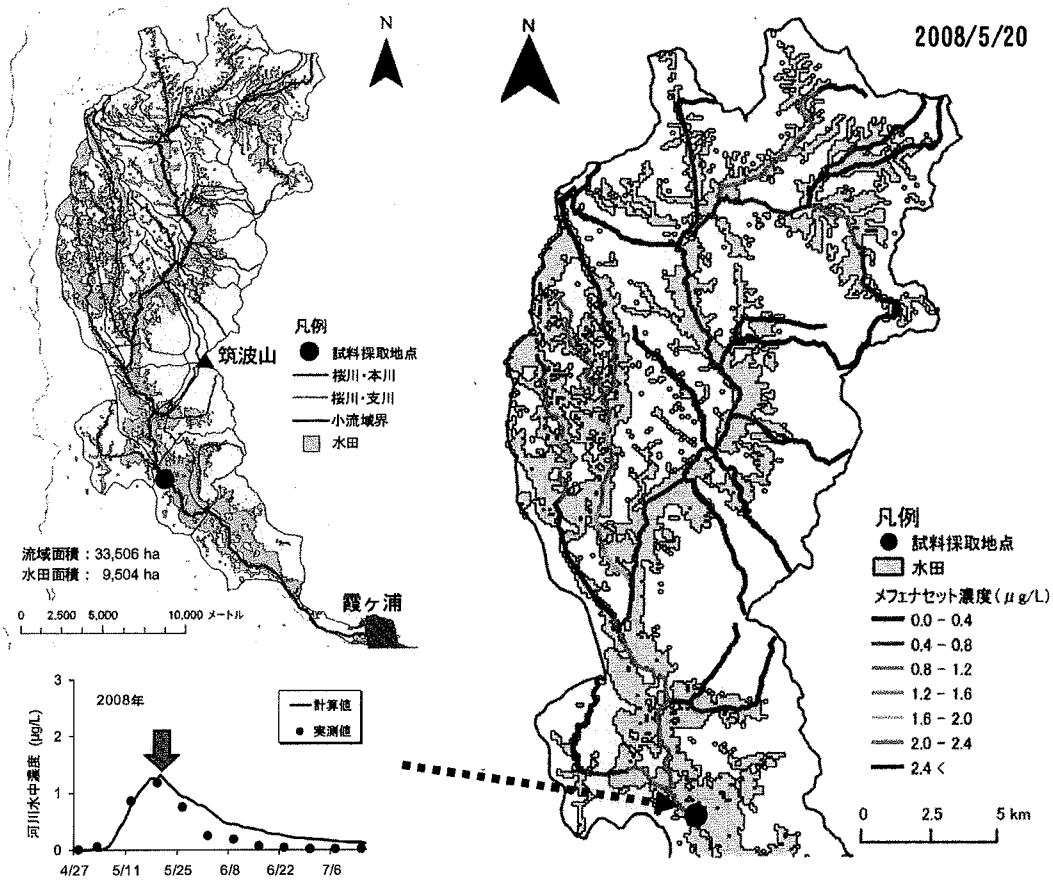


図－５　茨城県南部の幹線排水路における除草剤メフェナセットの実測値とPADDY-Largeモデルによる計算値との比較（1997 年）

草剤は，シハロホップブチルを除き使用時期に対応した検出ピークが確認され，特にシメトリンが比較的高濃度（最高値：2.4～17 μg l-1）で検出された。出穂期前の航空防除に使用された殺虫剤トリクロルホン（代謝分解物ジクロルボスを含む）および殺菌剤トリシクラゾールは，散布直後に数十μg l-1となり，その後急速に減少した。一方，無人ヘリ防除ではこれらの化合物の最高濃度は航空防除に比べて1/10～1/2程度となり，ピークも明確には見られなかった。改良PADDY-Largeモデルにより各農薬の河川水中濃度を計算した結果，一部で実測値とのかい離が見られ，さらなるモデルの検証は必要であるが，除草剤を含む一作期を通した水稲用農薬の濃度予測が可能であることが示された[15]。

3.1　河川本流域における濃度予測

支流域に比べて広大な面積を持つ河川本流域における農薬濃度を予測するためには，流域内で大きく変動するさまざまな特性（土地利用，土壌の特性など）をモデル計算に適切に反映させる必要がある。近年，地理情報システム（GIS）



図－6　GIS解析による桜川の流域特性（左上）とGIS結合型PADDY-Largeモデルによる除草剤メフェナセットの河川水中での濃度変化（左下）および濃度分布（右）

の技術が飛躍的に進歩し，土地利用や河川の河道など複雑な地理情報を容易に取り扱えるようになってきた。これに伴い，わが国でも流域レベルでの化学物質の濃度を予測する際に，GISとリンクさせた数理モデルの開発が進められている[16-18]。

筆者らは，前述のPADDY-Large モデルに河川流域内の地理情報を適切に反映するため，国土数値情報や航空写真を用いて，GISにより流域特性（小流域界，水田面積，河川流路・幅など）を把握した。また，個々の水田からの水尻排水が河川に流入する地点を特定するため，河川流路を50mごとのセグメントに分割し，100mメッシュ単位の各水田について最短距離にある河川セグメントを特定する手法を確立した[19,20]。さらに，農業環境技術研究所で作成されたデジタル土壌図[21]を用いて，流域内の水田土壌を分類ごと（土壌統別）に抽出し，土壌情報データベースにより各水田土壌の特性（仮比重，全炭素含量など）をモデルに反映させた。

図－6左上にGISで解析した茨城県南部の桜川流域（流域内の約3割が水田）の特性を示す。桜川流域の水田において田植え後に使用される除草剤メフェナセットを対象とし，流域内での使用量や使用時期を考慮することにより，開発したモデルで河川水中濃度を計算した。桜川中流域（君島橋）における河川水中濃度の実測値と比べると，図－6左下に示すように開発したモデルは一定期間内の検出濃度の変化を精度良く再現することができた。さらに，計算結果を地図上に表示することにより（図－6右），河川流域での濃度分布が容易に把握でき，どの地域で河川水中の濃度が高くなるのかを評価することができた[19,20]。

4. おわりに

水田が多く分布する地域を流れる河川では，様々な水稲用農薬が使用時期に合わせて検出されている。本稿で紹介したPADDY-Largeモデルは，検証を行った農薬や河川流域は限られるが，河川における農薬の濃度を予測できることが示された。本モデルは，実測データを用いた更なる検証や予測精度向上のための改良など課題は多いが，生産現場における水稲用農薬の適切なリスク管理を行うため，地域特性を考慮した農薬濃度の推定に有効に活用できるものと考える。

引用文献

1)R. F. Carsel, J. C. Imhoff, P. R. Hummel, J. M. Cheolick and A. S. Donigian Jr: "PRZM-3, A Model for Predicting Pesticide and Nitrogen Fate in the Crop Root and Unsaturated Soil Zones: Users Manual for Release 3.12", 1998

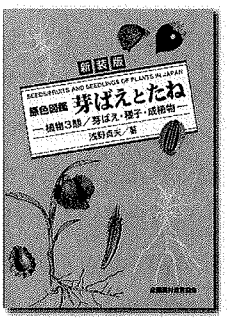
2)United States Environmental Protection Agency: "Generic Estimated Environmental Concentration Model (GENEEC) User's Manual version 2.0", 2001.

3)L. A. Burns: "Exposure Analysis Modeling System (EXAMS) User Manual and Documentation", United States Environmental Protection Agency, EPA600/R-00/081, 2002 M. W.

4)Williams, J. M. Cheplick and A. M. Ritter: "RICEWQ, Pesticide runoff model for rice crops. Users manual and program documentation version 1.1", Waterborne Environmental Inc. pp. 1-7, 1996.

5)H. Watanabe and K. Takagi (2000) *Environ.*

Technol. 21, 1379-1391.
6)H. Watanabe, K. Takagi and H. S. Vu (2006) *Pest Manag. Sci.* 62, 20-29.
7)岐部香織，高野浩至，亀屋隆志，浦野紘平 (2000) 水環境学会誌 23, 343-351.
8)K. Inao and Y. Kitamura (1999) *Pesticide Science* 55, 38-46.
9)K. Inao, Y. Ishii, Y. Kobara and Y. Kitamura (2001) *J. Pestic. Sci.* 26, 229-235.
10)鍬塚昭三，山本広基 (1998) 土と農薬，(社) 日本植物防疫協会，東京
11)K. Inao, H. Mizutani, Y. Yogo and M. Ikeda (2009) *J. Pestic. Sci.* 34, 273-282.
12)農薬抄録「ピリミノバックメチル」 http://www.acis.famic.go.jp/syouroku/pyriminobac-methyl/index.htm
13)永井雄太郎，榛葉香代子，箭木　昭，遊佐義男 (1996) 日本農薬学会第21回大会講演要旨集，35.
14)K. Inao, Y. Ishii, Y. Kobara and Y. Kitamura (2003) *J. Pesticide Sci.* 28, 24-32.
15)稲生　圭哉，北條　敏彦，安納　弘親，宮崎さとえ，斎藤　武司，朴　虎東 (2011) 日本農薬学会誌 36, 413-427.
16)Y. Matsui, S. Itoshiro, M. Buma, T. Matsushita, K. Hosogoe, A. Yuasa and T. Inoue (2002) *Water Science and Technology* 45, 141-148.
17)鈴木規之ら (2005) 環境化学 15, 385-395.
18)石川百合子，東海明宏 (2006) 水環境学会誌 29, 797-807.
19)稲生圭哉，岩崎亘典，岩船　敬，堀尾　剛 (2011) 農業環境技術研究所研究成果情報 27, 12-13. http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/result/result27/result27_12.html
20)N. Iwasaki, K. Inao, T. Iwafune, T. Horio, H. Obara (2011) *Limnology* (submitted).
21)農業環境技術研究所 (2009) 土壌情報閲覧システム http://agrimesh.dc.affrc.go.jp/soil_db/

新装版
原色図鑑 芽ばえとたね
—植物3態／芽ばえ・種子・成植物—
浅野貞夫／著
A4判　280頁
定価：9,000円+税
ISBN978-4-88137-115-2
芽ばえの細密図・種子のクローズアップ写真・成植物の生態写真、これら3態セットで植物の一生を表現。草本類480種、木本類160種を掲載した他に類のない植物図鑑。


全国農村教育協会 〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6 TEL.03-3839-9160 FAX.03-3833-1665 http://www.zennokyo.co.jp

Quality&Safety

消費者・生産農家の立場に立って、安全・安心な
食糧生産や環境保護に貢献して参ります。

SDSの水稲用除草剤成分
「ベンゾビシクロン」含有製品

SU抵抗性雑草対策に！アシカキ、イボクサ対策にも！

シロノック（フロアブル/ジャンボ/1キロ粒剤）
オークス（フロアブル/ジャンボ/1キロ粒剤）
サスケ-ラジカルジャンボ
イッテツ（フロアブル/1キロ粒剤/ジャンボ）/ボランティアジャンボ
テラガード（フロアブル/1キロ粒剤/ジャンボ/250グラム）
キチット（1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル）
新製品 非SU ・・・スマート（フロアブル/1キロ粒剤）
新製品 非SU ・・・サンシャイン（1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル）
新製品 非SU ・・・イネキング（1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル）
新製品 非SU ・・・ピラクロエース（フロアブル/1キロ粒剤）
新製品 ・・・忍（フロアブル/1キロ粒剤）
新製品 ・・・ハーディ1キロ粒剤
非SU ・・・テロス（フロアブル/1キロ粒剤/250グラム）
カービー1キロ粒剤
ハイカット/サンパンチ1キロ粒剤
ダブルスターSB（1キロ粒剤/ジャンボ/顆粒）
新製品 ・・・シリウスターボ（フロアブル/1キロ粒剤/ジャンボ）
シリウスいぶき（1キロ粒剤/ジャンボ/顆粒）
プラスワン（1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル）
ボス1キロ粒剤
非SU ・・・イネエース1キロ粒剤
非SU ・・・ウエスフロアブル
非SU ・・・フォーカスショットジャンボ/プレッサフロアブル

株式会社エス・ディー・エス バイオテック
〒103-0004　東京都中央区東日本橋一丁目1番5号　ヒューリック東日本橋ビル
TEL.03-5825-5522　FAX.03-5825-5502 http://www.sdsbio.co.jp

里地里山の多様な環境と「農の営み」がスミレ類を維持している

全国農業協同組合連合会　岩手県本部　武田眞一

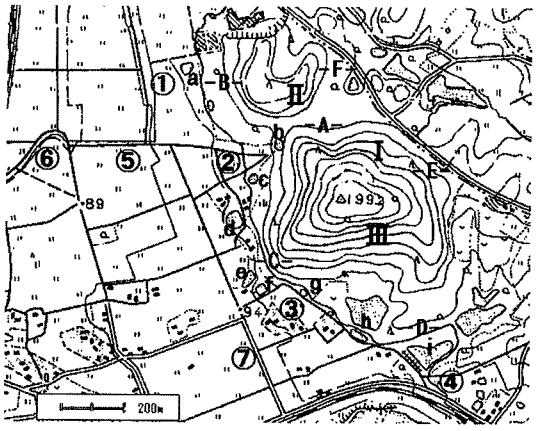
1. はじめに

里地里山は，集落を取り巻く二次林と人工林，農地，ため池，草地などで構成される地域概念であり，長い歴史の中でさまざまな人間の働きかけを通して特有の自然環境が形成されてきた。ところが，近年は人口減少や高齢化が急速に進み，農業形態や生活様式の変化が著しい里地里山では，人間活動の縮小により，生物多様性に対する危機が継続・拡大している（環境省，2007)。また，各都道府県でレッドデータブックが作成され，里地里山の生物多様性の保全に関心が高まっている。しかしながら，希少種や絶滅危惧種といわれる植物は注目されるが，農村地域特有の景観形成素材である普通の野の花を対象とした調査は多くない。そこで，万葉集や童謡・唱歌などにうたわれ，春の景観を演出する植物のひとつであるスミレ類をとりあげ，里地里山の景観要素別の種組成を明らかにするとともに，農地周辺の草地管理の違いや里山の植生管理が個体群密度に及ぼす影響について検討したのでその概要を紹介する。

2. 里地里山におけるスミレ類の分布の特徴

調査は岩手県内陸部の花巻市Y集落の一部（約120ha）で実施した（武田，2010)。この地域は，東に標高約200 mの落葉広葉樹林（一部スギ植林）の丘陵があり，その麓には水田水源としてのため池や農家の住居が点在し，西側に水田が拡がる伝統的な里地里山の構造（武内和彦ら，2001；山本勝利，2002)を呈している（図－1)。

丘陵部の山林はかつて薪炭林や山菜，きのこの採取場所として利用されていたが，近年は放置されている。ため池のうち2カ所は2002年に改修され（以下，改修ため池という)，共同で管理されている。それ以外のため池は，共同または個人で林縁や堤防草地の草刈り等の管理を行っているもの（以下，伝統的管理ため池という）と，放棄されたもの（以下，放棄ため池という）に分けられる。伝統的管理ため池の周辺部は，丘陵の林縁部が落葉広葉樹のマント群落あるいはソデ群落（沼田・岩瀬，2002)，水田側は堤防草地（以下，



①～⑦；水田（畦畔草地），　a～i；ため池（林縁、草地），
A～F；山麓林縁，　Ⅰ～Ⅲ；山腹林床

図－1　調査地と調査域の位置(2010)

表－1　調査域の概要と解析対象（武田,2010）

景観区分と調査域(1)	管理別区分と調査域(1)	調査域数	総調査区数	調査区の大きさ	1調査域あたりの調査区数	景観別解析(2)	管理別解析(2)
畦畔草地	管理畦畔草地（①～⑦）	7	81	50～100 m×2～1m	4～27	○	○
	放棄畦畔草地（②，⑤，⑥）	3	19		3～10	×	○
ため池草地	伝統的管理ため池草地（d，h，i）	3	10		3～4	○(3)	○
	改修ため池草地（a，b）	2	4		2		○
	放棄ため池草地（e，f，g）	3	6		2	×	○
ため池林縁（b，c，h，i）		4	9		2～3	○	×
山麓林縁（A～F）		6	30		4～6	○	×
山腹林床（Ⅰ～Ⅲ）		3	12	50m×50m	2～7	○	×

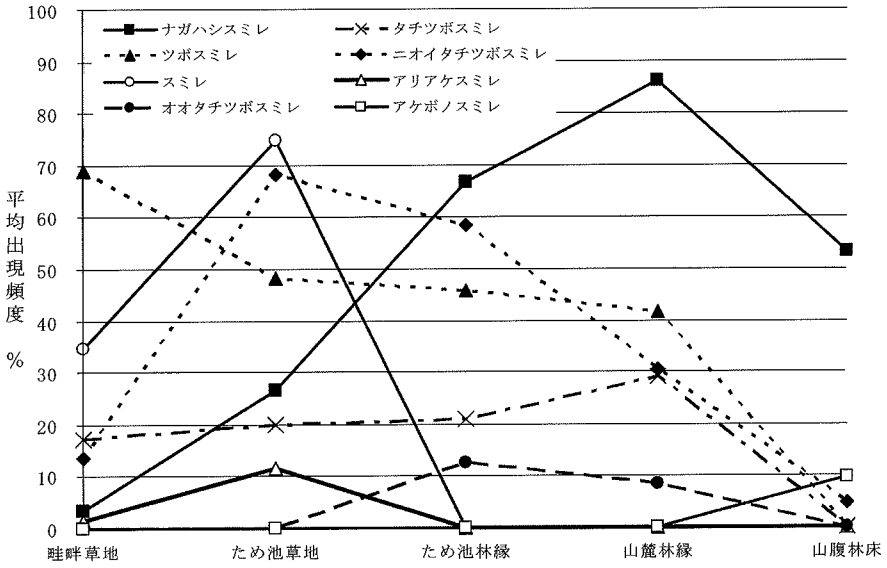
(1) 調査域は図1に対応する．なお，同一調査域を区分したため，一部，調査域が重複している．
(2) それぞれの解析対象を○で，解析対象としなかった調査域を×で示した．
(3) 区分せずに解析した．

ため池草地という）になっている。

水田は1968～1970年の基盤整備で，1筆30aに区画整理されている。一部は牧草や小麦に転作され，耕作放棄水田も散在する。水路は一部を除きコンクリート水路に改修されている。

2005年に表－1に示した景観区分，草地管理別区分ごとに12～100ヶ所の調査区（100～250㎡）を設定し，ホイッタカー（1979）の数度を参考にスミレ類の自生程度および植生の管理状況を調査した。なお，畦畔草地は，大窪・前中（1995）の定義に従い，あぜに加え，隣接する水田や小農道，住居に面した斜面などの半自然草地も一体的に取り扱った。

スミレ類はアケボノスミレ，ナガハシスミレ，オオタチツボスミレ，タチツボスミレ，ニオイタチツボスミレ，スミレ，アリアケスミレ，ツボスミレの８種が確認された。その種組成や自生程度は景観区分で異なっていた（図－2）。畦畔草地は乾性を好むスミレと湿性を好むツボスミレの２種に特徴づけられた。これは，あぜに加



図－2　景観要素別のスミレ属植物の平均出現頻度（武田，2010をもとに作図）

え，隣接する水田や小農道，住居に面した斜面など，乾性と湿性両方の土壌水分条件の半自然草地を一体的に畦畔草地として取り扱っているためと考えられる。畦畔草地に近接して立地するため池草地の種構成は，畦畔草地の優占種であるスミレ及びツボスミレに，山地や丘陵の乾燥地に多いニオイタチツボスミレと，ため池林縁や山麓林縁を特徴づけるナガハシスミレが加わり，多様な種構成と高い自生程度を示した。これは，ため池草地が畦畔草地と類似した構造を有するとともに，草地とは種組成の異なる林縁に接しているため，落葉広葉樹林による適度な遮光の影響や林縁構成種がシードソースとなっていることが考えられる。また，ため池林縁と山麓林縁の種組成は類似しており，半日陰を好むナガハシスミレに特徴づけられた。

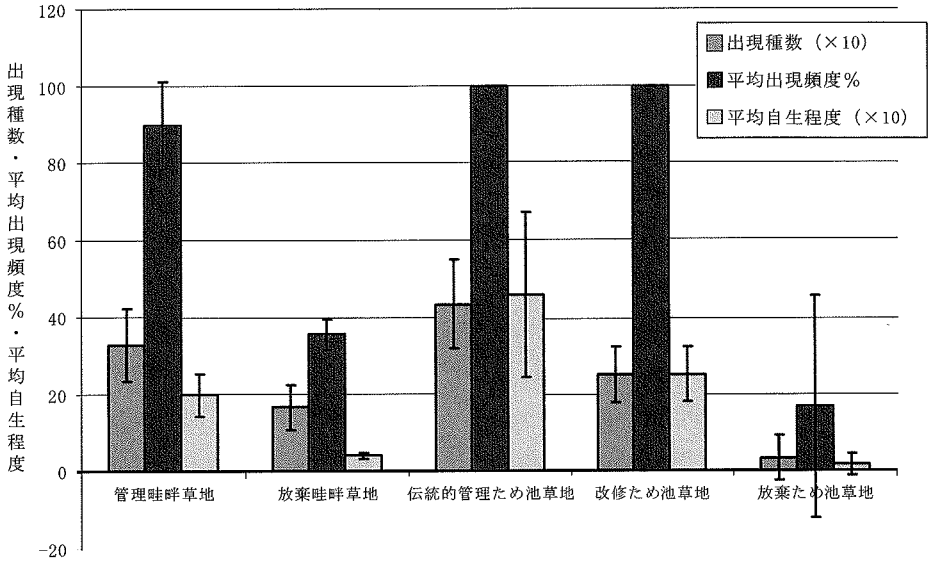
以上のことから，本調査地は丘陵から水田地帯にかけての雑木林，草地という植生がもたらす半陰地，陽地の変化と，水田やため池という土地利用がもたらす乾湿の違いなど多様な環境を備えており，それに対応してスミレ類の種組成が変化し，豊かな景観を形成していると考えられる。なお，山腹林床はスミレ類の出現頻度，自生程度が他の景観区分に比較して著しく劣った。これは，調査地の概要で述べたように，長年にわたる管理の停止の影響と考えられる。

3. 草地の植生管理の違いがスミレ類の個体群に及ぼす影響

改修ため池と伝統的管理ため池の林縁部では，マント群落は年１回の刈払い，ソデ群落と草地は年２～３回草刈りが実施されていた。一方，草刈りが行われていない放棄ため池の草地はススキ－ヨモギ群落や低木を主体としたマント群落に遷移していた。耕作水田（転作水田を含む）の畦畔草地では年２～４回の草刈りが行われていた。なお，植生管理はすべて草刈管理であり，除草剤管理のところはなかった。一方，耕作放棄水田は２年～数年以上乾性状態で放置され，畦畔草地も含めてヨモギ，ススキ，チガヤが優占し，落葉が堆積していた。また，一部にはササ類や低木の侵入も見られた。

管理別に区分した草地のスミレ類の自生状況は図－３に示した。管理畦畔草地のスミレ類の平均出現種数は3.3，平均出現頻度は89.9％，平均自生程度は1.98で，主な構成種の平均自生程度の関係はツボスミレ＞スミレ＞タチツボスミレ＞ニオイタチツボスミレであった。一方，放棄畦畔草地ではタチツボスミレ，アリアケスミレが姿を消し，平均出現種数1.7と構成種が単純化し，平均出現頻度，平均自生程度とも管理畦畔草地に比較して著しく低かった。特に，管理畦畔草地の主要構成種であるツボスミレの平均自生程度の低下が顕著であった。伝統的管理ため池草地のスミレ属の平均出現種数は4.3，平均出現頻度は100％，平均自生程度は4.58で，草地の中で最も高い値を示した。改修ため池草地では，タチツボスミレやアリアケスミレが姿を消し，平均出現種数は伝統的管理ため池草地に比較して減少したが，平均出現頻度，平均自生程度は管理畦畔草地とほぼ同程度に維持されていた。また，林縁の主要構成種であるナガハシスミレの平均自生程度が高かった。放棄ため池草地での出現種はタチツボスミレのみで，平均出現頻度，平均自生程度とも著しく低くかった。

山口ら（1998)は草刈りを行っている畦畔平坦面には，チガヤなどの優占種に混じって生長点の比較的低く草刈りに強い種が多いとし，スミレやアリアケスミレをその仲間に入れている。また，井出（1999）は雑木林の下草刈りや草地



図－3　管理別に区分した草地のスミレ属植物の自生状況（武田，2010）

での火入れや草刈りなど人間による周期的な干渉を受けて成立してきた生物群集は，その働きかけから解放されれば植生遷移が進み，生息できなくなると指摘し，成立しなくなる草原性植物としてスミレの事例をあげている。また，飯山ら（2002）は，草刈りが行われないまま2年間放置された畦畔では，畦畔植物の出現種数や多様度が維持されていたが，5年間放置されると極端に減少することを報告している。本調査地の放棄草地では，スミレ類の出現種数，自生程度とも管理草地に比較し極端に低下しており，上記の指摘や結果と一致する。

また，放棄水田の群落タイプは土壌水分の乾湿によって湿性群落と乾性群落の2つの遷移タイプに分かれる（大黒ら，1996）ことが報告されている。本調査地の放棄畦畔草地におけるツボスミレの減少は，乾性群落への遷移の例である。放棄畦畔草地では水管理の放棄がもたらす極端な乾性または湿性いずれか一方向への変化による種構成の単純化が起き，草刈り頻度の減少と相まってスミレ類の多様性が低下していくものと推察される。以上の結果は，里地里山のスミレ類の多様性は持続的な土地利用と植生管理によって，維持されていることを示している。

なお，農地の基盤整備実施地域の畦畔では，種多様度が低下することが報告されている（大窪・前中，1995；山口ら，1998；伊藤ら，1999）。改修ため池草地でのスミレ属の出現種数の低下は，改修整備による大規模な土壌攪乱の影響であると考えられる。一方，出現頻度や自生程度は管理畦畔草地とほぼ同程度に維持されており，林縁の主要構成種であるナガハシスミレの自生程度が高いという特徴が認められた。大窪・前中（1995）は，基盤整備地区での群落の回復要因として，周辺域のシードソースの残存度や整備の規模，管理方法などをあげている。また，有田・小林（2000）は谷津の基盤整備地区での種多様性が高い要因として，周辺の土地利用が関与している可能性を指摘している。本調査地の改修ため池草地においても，林縁，水田という異質な環境がモザイク状に入り組んでいることがスミレ類の多様性の維持に関与している可能性が高い。地域共同での植生管

理が，改修後のため池草地におけるスミレ類の多様性にどのような効果をもたらすか，今後さらに追跡調査する必要がある。

4. レッドデータブック記載種「ゲンジスミレ」の自生環境と個体群動態

次に，絶滅危惧種のスミレ類についての調査事例を紹介する。ゲンジスミレは我が国では4カ所に隔離的遺存的に分布し（浜，1975），いわてレッドデータブックのカテゴリー区分Bランク（環境省RDB絶滅危惧Ⅱ類(VU)の基準相当種）に選定されている。また，生存に対する脅威としてダム建設や牧草地の拡大にともなう生育地の破壊などがあげられている（岩手県，2001）。本種は基本種が中国大陸に分布する，植物地理学的にも貴重な植物であるが，本県での分布地は数地点が知られているだけで，自生環境は不明な点が多い。そこで，自生地の環境および個体群の分布構造を調査したところ，本種の生存についても里地里山の植生管理と関係が深いことが示唆された（武田，2006）。

2003年～2005年にこれまで分布情報が少なかった県北部の山地，丘陵地において，1地点100 m～200 mの範囲で見歩き調査を行い，自生箇所数（局所個体群数），おおよその個体数と芽生え，非開花個体，開花個体別のクラス構成および植被の発達状況を達観調査した。

73地点を調査した結果，その43.8％の32地点で自生を確認した。標高は200～500 mで，表層地層は主に新生代の砂岩や火山細屑物の分布地帯であった。また，自生地の現況地形（表－2）は林道や伐採作業道，畑地やそれに隣接する農道の切り土法面であり，作業道の整備や畑地造成という人為的攪乱が本種に好適な自生地を提供するという役割を果たしていることが想像された。そこで，自生地の環境攪乱後の経過年数，植被の発達程度と局所個体群の個体構成や個体数の関係を表－3に示した。

表－2　類型化した現況地形別のゲンジスミレ自生確認率(武田,2006)

項目	全体	①畑地・農道切り土法面	②林道切り土法面	③伐採作業道切り土法面	④その他
調査地点数	73	24	12	28	9
自生確認地点数	32	11	6	12	3
同上率％	43.8	45.8	50.0	42.9	33.3

表－3　攪乱後経過年数と植被の発達程度およびゲンジスミレ個体群の構成（武田，2006を一部改変）

攪乱後の推定経過年数	調査自生地数	植被の発達程度と調査個体群数				クラス構成別の個体群割合％				個体数別の自生地の割合％		
		無	少	中	多	芽生えのみ	未開花個体のみ（芽生えなし）	未開花と開花個体（芽生えなし）	芽生え～開花個体の各クラスで構成	20以下	20～50	50以上
短(1～2年)	3	5	0	0	0	20.0	80.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
中(3～5年)	13	6	12	7	0	0.0	8.0	0.0	92.0	38.5	23.1	38.5
長(6年以上)	16	1	7	6	7	0.0	19.5	9.5	71.4	56.3	37.5	6.2

攪乱後の経過年数が１～２年程度の自生地では，植被は未発達で，局所個体群の個体数は1～2個体でクラス構成も芽生えや未開花個体だけであった。攪乱後３～５年経過の自生地では植被が発達しつつあったが，定期的な下草刈や，法面が急峻で土砂の崩落により植被の発達が抑えられているところでは，100個体を超える群落を形成していた。個体群の構成も当年の芽生え個体から開花個体まで揃っていた。攪乱後６年以上経過した自生地でも，植被の発達が少ないところでは，芽生えから開花個体まで揃っている個体群もみられたが，被植発達が中～多では本葉の少ない未開花個体のみのところや，芽生え個体が見あたらないところも多く，個体数も少ない傾向にあった。

本種は珍稀種で石灰岩伝いに分布する（岩手植物の会，1970）とされている。しかし，今回の調査結果から，本種の分布と石灰岩との関係はなく，人為的攪乱等で生じたギャップで繁殖が旺盛となり，やがてギャップに植被が発達するにつれて，資源（光）の奪い合いにより繁殖が抑制されていくプロセスをたどっていることが想像される。本種の生態については更に詳細な調査が必要であるが，保全のためには手つかずの状態に置くのではなく，人里植物の仲間として人間がいかに干渉していくかの検討こそ重要であると思われる。

絶滅危惧種が集中して生息・生育する地域の5割以上が里地里山に分布している（環境省，2001）といわれているが，ゲンジスミレの例のように人里植物については十分な調査がないまま，誤った解釈がなされている場合も少なくない。里地里山の生物多様性については，更なるデータの積み重ねと情報発信が求められる。

5. おわりに

農業は自然生態系と関わりあいながら営まれる産業であるから，農業の営みそのものが種の保全にも，種の絶滅にも影響する（山口，2003）。また，適度な攪乱は種多様性を保つうえで欠かせない条件である（鷲谷・矢原，1996）といわれている。紹介した調査は，農地利用の継続と刈り払いや草刈りという植生管理が日本人にとって身近な植物であるスミレ類の維持に大きく関わっていることを示した一事例である。

多様な生物で構成されている「生態系」は，われわれ人間に衣食住を供給するとともに，気候変動や病害虫発生を緩和し，教育やレクリエーションの場や精神的やすらぎをもたらすなど多くの恩恵を与えてくれる。草刈という農の営みが，農業生産ばかりでなく，地域住民や都市生活者に恵みを提供していることは大きな誇りであり，農業者以外にももっと理解を広げるべきである。一方，「里地里山」は農業生産の場であり除草剤等の利用も含めた管理の効率化も求められる。生産活動と農村の財産である生物多様性をいかに調和させていくかは今後の重要な課題である。そのためには，農の営みと個々の植物の生態との関係について更に多くの事例を蓄積していく必要がある。

6. 引用文献

有田ゆり子・小林達明 2000 谷津田の土地利用変化と水田・畦畔植生の特性.ランドスケープ研究 63(5).485-490.

浜　栄助 1975 原色日本のスミレ.誠文堂新光社，東京,280pp.

井出 任 1999 農村生態系の保全と管理.日本造園学会編「ランスケープ大系５ランドスケープエコロジー」.技報堂出版.58-64.

飯山直樹・鎌田磨人・中川恵美子・中越信和 2002 棚田畦畔の構造および草刈りの差異が植物群落に及ぼす影響.ランドスケープ研究65(5).579-584.

伊藤貴庸・中山祐一郎・山口裕文 1999 伝統的畦畔と基盤整備畦畔における植生構造とその変遷過程.雑草研究 44(4).329-340.

岩手県環境生活部自然保護課編 2001 いわてレッドデータブック,岩手県.613pp.

岩手植物の会 1970 岩手県植物誌,岩手植物の会.703pp.

環境省 2001 日本の里地里山の調査・分析について（中間報告）

環境省 2007 第三次生物多様性国家戦略.環境省.277pp.

沼田 眞・岩瀬 徹 2002 図説日本の植生.講談社,東京.228-230.

大黒俊哉・松尾和人・根本正之 1996 山間地における放棄水田と畦畔のり面の植生動態.日本生態学会誌 46.245-256.

大窪久美子・前中久行 1995 基盤整備が畦畔草地群落に及ぼす影響と農業生態系での畦畔草地の位置づけ.ランドスケープ研究58(3).109-112.

武田眞一 2010 岩手県の里地里山におけるスミレ属植物の分布及び管理の違いが個体群密度に及ぼす影響.岩手農研センター研究報告.10.1-11.

武田眞一 2006 岩手郡北部および二戸郡におけるゲンジスミレの自生環境と個体群分布の特徴.岩手植物の会会報.43.1-6.

武内和彦・鷲谷いづみ・恒川篤史編 2001 里山の環境学.東京大学出版会.東京.1-9.

山口裕文・梅本信也・前中久行 1998 伝統的水田と基盤整備水田における畦畔植生.雑草研究 43(3).249-257.

山口裕文 2003 水田畦畔の管理と種の多様性維持.今月の農業(2).45-49.

山本勝利 2001 里地におけるランドスケープ構造と植物相の変容に関する研究.農業環境技術研究所報告 20.1-105.

鷲谷いづみ・矢原徹一 1996 保全生態学入門.文一総合出版,東京.270pp.

ホイッタカー,R.H.(宝月欣二訳) 1979 生態学概説-生物群集と生態系-第2版.培風館.113-120.

新刊 カヤツリグサ科入門図鑑
谷城 勝弘
A5変形判 定価2,940円(税込)
ごく普通に見られる約200種を取り上げ、大きな写真、ていねいな写真説明でわかりやすく解説します。
第1部 カヤツリグサ科の形
第2部 カヤツリグサ科200種
第3部 カヤツリグサ科の生える環境
第4部 標本でみるカヤツリグサ科
全国農村教育協会 〒110-0016 東京都台東区台東1-27-11
TEL03-3839-9160 FAX03-3839-9172 http://www.zennokyo.co.jp

確かな技術で、ニッポンの米作りを応援します。

高葉齢のノビエにすぐれた効き目！
フルセトスルフロン

NEW 石原の新規水稲除草剤

スケダチ® 1キロ粒剤
フルチャージ® 1キロ粒剤 ジャンボ
フルフォース® 1キロ粒剤
フルイニング® 1キロ粒剤
ナイスミドル® 1キロ粒剤
アンカーマン® DF
ハードパンチ® DF

ラベルをよく読んで正しく使用しましょう！
石原は「食の安全」を大切にします

ISK 石原産業株式会社
石原バイオサイエンス株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号
ホームページ アドレス http://www.iskweb.co.jp/ibj/

日本雑草学会創立50周年企画

ちょっと知りたい 雑草学

沖 陽子・岩瀬 徹・露崎 浩・村岡 哲郎・高橋 宏和・田中 十城／著
日本雑草学会／編・発行　A5判　152ページ　定価1,995円

◆「雑草とは何か」についてわかりやすく解説。
◆除草剤の正しい知識を普及する格好の書。
◆それぞれ独自の見識とアプローチを持つ著者陣により、多彩な内容を展開。

本書の内容
第1章　雑草のくらし
第2章　雑草から学ぶ自然のしくみ
第3章　雑草をコントロールする
終　章　座談・雑草との共存を目指して

発売 全国農村教育協会
http://www.zennokyo.co.jp
〒110-0016　東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
TEL.03-3839-9160　FAX.03-3833-1665

平成２３年度　水稲作関係除草剤試験判定結果

財団法人　日本植物調節剤研究協会

平成２３年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成２３年１２月８日、９日の２日間、浅草ビューホテルにおいて、適１試験成績検討会は、これに先立ち平成２３年１０月１３日　同じく浅草ビューホテルにて開催された。ここに、これら検討会における判定結果を報告する。

１）第一次適用性試験（適１）は、北海道地域（植調北海道試験地）、東北地域（植調古川試験地）、北陸地域（植調新潟試験地）、関東地域（植調研究所）、近畿・中国・四国地域（植調岡山倉敷試験地）、九州地域（植調福岡試験地）の全国６地域および砂壌土（植調霞ヶ浦試験地）で２８薬剤（のべ１５６点）について実施した。その判定結果は、第２表のとおりである。

２）第二次適用性試験（適２）は、のべ５１７剤（総点数２，３２３点）であり、その内訳を第１表にまとめた。これら適２の判定結果は第３表のとおりであり、「実・継」と判定された薬剤の使用基準を後に掲載した。

第1表　平成23年度適2試験実施点数

A-1 移植栽培(一発処理)	138 剤	1,240 点	A-4 特殊雑草対象　内訳		
A-2 移植栽培(体系処理:初期)	7 剤	70 点	エゾノサヤヌカグサ	13 剤	13 点
A-3 移植栽培(体系処理:中後期)	20 剤	177 点	オモダカ	87 剤	258 点
A-4 移植栽培(特殊雑草対象)	のべ 285 剤	638 点	クサネム	1 剤	2 点
B　直播栽培	66 剤	194 点	クログワイ	76 剤	217 点
C　畦畔	1 剤	4 点	コウキヤガラ	44 剤	81 点
			シズイ	41 剤	41 点
			ミズアオイ	13 剤	13 点
			SU 抵抗性ホタルイ	4 剤	7 点
			雑草イネ	6 剤	6 点

第2表　平成23年度 水稲関係除草剤適1試験 判定結果一覧

注）総合評価欄、中央判定欄の記号については、◎：極めて有望、○：有望、□：可能性有り、△：再検討、×：見込みなし を表す。

No.	薬剤名 ・ 剤型 [委託者]	有効成分及び含有率	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	岡山倉敷	福岡	霞ヶ浦（砂）	中央判定 [今後の検討課題]
1	BAH-1103-1kg粒 [BASF]	既知化合物A:0.4% 既知化合物B:4%	□	○	○	○	○	○	□	○ 体系処理（初期） [年次変動の確認]
2	BAH-1104-1kg粒 [BASF]	既知化合物A:0.5% 既知化合物B:6%	□	○	○	○	○	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
3	BAH-1118 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [BASF]	既知化合物A:1.67% 既知化合物B:20%	□	○	○	○	○	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
4	BCH-100-1kg粒 [ﾊﾞｲｴﾙ]	ﾄﾘｱﾌｧﾓﾝ(BCH-100):0.5%		□	□				□	□ 体系処理（中後期） [効果の確認]
5	HOK-1101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [北興]	ﾃﾌﾘﾙﾄﾘｵﾝ:10% ｲﾌﾟﾌｪﾝｶﾙﾊﾞｿﾞﾝ:8.33%	□	□	□	□	◎	□	△	□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
6	HOK-1101 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [北興]	ﾃﾌﾘﾙﾄﾘｵﾝ:6.0% ｲﾌﾟﾌｪﾝｶﾙﾊﾞｿﾞﾝ:5.0%	□	△	△	△	◎	□	△	□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
7	HOK-1101-1kg粒 [北興]	ﾃﾌﾘﾙﾄﾘｵﾝ:3.0% ｲﾌﾟﾌｪﾝｶﾙﾊﾞｿﾞﾝ:2.5%	□	△	△	△	◎	□	△	□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
8	HOK-1102-1kg粒 [*北興,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	既知化合物A:a% 既知化合物B:b% 既知化合物C:c%	○	□						□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
9	HOK-1103-1kg粒 [*北興,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	既知化合物D:d% 既知化合物E:e% 既知化合物F:f%			□	□	□	□	□	□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
10	KPP-129-1kg粒 [科研]	既知化合物A:1.35%	△	□	□	△	○	○	△	□ 体系処理（中後期） [効果、薬害の確認]
11	KPP-506-1kg粒 [科研]	ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ:4.5% 既知化合物B:2.0% 既知化合物C:2.5% 既知化合物D:0.75%	□	□						□ 一発処理 [効果の確認]
12	KPP-506(L)-1kg粒 [科研]	ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ:4.5% 既知化合物B:2.0% 既知化合物C:2.5% 既知化合物E:0.51%			□	□	○	□	□	□ 一発処理 [効果の確認]
13	KPP-507 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [科研]	ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ:4.0% 既知化合物B:14.0% (w/v)	○	○	□	□	□	□	□	□ 体系処理（初期） [効果の確認]
14	KUH-091-0.25kg粒 [*クミ化,SDS]	ﾋﾟﾘﾐｽﾙﾌｧﾝ:2.7% ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:12.0%	○	◎	○	□	◎	□	□	○ 一発処理 [年次変動の確認]

No.	薬剤名 ・ 剤型 [委託者]	有効成分及び含有率	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	岡山倉敷	福岡	霞ケ浦（砂）	中央判定 [今後の検討課題]
15	KUH-110-1kg粒 [クミ化]	KUH-110(新規):x%	□	○	○	□	○	○	□	□ 混合母剤として [混合化の検討]
16	KUH-111-1kg粒 [*クミ化,SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ:3.0% ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝ:0.6% ﾀﾞｲﾑﾛﾝ:9.0% ﾍﾟﾝｿﾞﾋﾟｼｸﾛﾝ:3.0%			□	□	□	○	□	□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
17	MIH-101(H)-1kg粒 [三井化学]	ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ:20.0% ﾌﾟﾛﾋﾟﾘｽﾙﾌﾛﾝ:0.9%	○							○ 一発処理 [年次変動の確認]
18	MIH-111-1kg粒 [三井化学]	SW-065(新規):3.0% 既知化合物B:6.0% 既知化合物C:3.0%	□	□	△	□	○	□	□	□ 一発処理 [ノビエに対する効果、薬害の確認]
19	MIH-112(H) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [SDS,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ, *三井化学]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ:6.0% ﾍﾟﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.5% ﾍﾟﾝｿﾞﾋﾟｼｸﾛﾝ:4.0% (w/v)	□	○						○ 一発処理 [年次変動の確認]
20	MIH-112(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [SDS,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ, *三井化学]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ:6.0% ﾍﾟﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.0% ﾍﾟﾝｿﾞﾋﾟｼｸﾛﾝ:4.0% (w/v)			□	○	◎	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
21	MIH-114-1kg粒 [三井化学]	既知化合物A:10.0% 既知化合物B:2.0% 既知化合物C:0.6%	○	○	○	□	○	□	□	○ 一発処理 [年次変動の確認]
22	NC-632 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [日産]	ﾀﾞｲﾑﾛﾝ:20.0% ﾋﾟﾗｸﾛﾆﾙ:4.0% ﾒﾀｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ(NC-620):2.0%	◎	◎	◎	△	◎	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
23	NC-634-1kg粒 [日産]	既知化合物P:15.0% 既知化合物Q:2.0% 既知化合物R:0.8%	◎	○	○	○	○	△	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
24	NH-1101-1kg粒 [日農]	ﾍﾟﾉｷｽｽﾗﾑ:0.5% ﾍﾟﾝｿﾞﾋﾟｼｸﾛﾝ:2.0%	△	○	○	□	◎	□	□	□ 体系処理(中後期) [効果、薬害の確認]
25	S-9146-1kg粒剤 [住友]	ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ:0.9% ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ:9.0% ﾋﾟﾘﾐﾉﾊﾞｯｸﾒﾁﾙ:0.6%	□	○	□	□	◎	△	□	□ 一発処理 [効果の確認]
26	S-9465-1kg粒 [住友]	ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ:0.9% ﾋﾟﾗｸﾛﾆﾙ:2.0%				△	◎	△	□	□ 一発処理 [効果の確認]
27	S-9663-1kg粒 [住友]	既知化合物:2.5% 既知化合物:0.9% 既知化合物:9.0%	○	○	□	□	○	□	□	□ 一発処理 [効果の確認]
28	S-9696-1kg粒 [住友]	既知化合物:3.0% 既知化合物:5.0% 既知化合物:0.9% 既知化合物:9.0% 既知化合物:2.0%		○	○	□	○			○ 一発処理 [年次変動の確認]

第3表 平成23年度 水稲関係除草剤適2試験 判定結果一覧

区 分	実・継		継	
A-1 一発処理	BAH-041-1kg粒	BCH-031-1kg粒	BAH-1104-1kg粒	BAH-1118ジャンボ
	BCH-032-1kg粒	BCH-051ジャンボ	HOK-1101ジャンボ	HOK-1101フロアブル
	BCH-051フロアブル	* BCH-101-1kg粒	HOK-1101-1kg粒	KPP-506-1kg粒
	* BCH-105H-1kg粒	* BCH-105L-1kg粒	KPP-506(L)-1kg粒	KUH-091ジャンボ
	HOK-0701Sジャンボ	HOK-0801(L)ジャンボ	KUH-091-0.25kg粒	KUH-103ジャンボ
	HOK-0801(L)フロアブル	HOK-0801(L)-1kg粒	KUH-103-0.25kg粒	KUH-111-1kg粒
	HOK-0801S-1kg粒	* HOK-1002ジャンボ	MIH-101(H)-1kg粒	MIH-111-1kg粒
	* HOK-1002フロアブル	* HOK-1002-1kg粒	MIH-112(H)フロアブル	MIH-112(L)フロアブル
	* HOK-1002(L)ジャンボ	* HOK-1002(L)フロアブル	MIH-113(H)ジャンボ	MIH-113(L)ジャンボ
	* HOK-1002(L)-1kg粒	KPP-398(L)フロアブル	MIH-114-1kg粒	NC-632フロアブル
	KPP-398(L)-1kg粒	KPP-406(L)フロアブル	NC-634-1kg粒	S-9146-1kg粒
	* KPP-505-1kg粒	KUH-021ジャンボ	S-9465-1kg粒	S-9663-1kg粒
	KUH-041ジャンボ	KUH-041-0.25kg粒	S-9696-1kg粒	
	KUH-041-1kg粒	KUH-072Dジャンボ		
	* KUH-072Dフロアブル	KUH-072D-0.25kg粒		
	KUH-072D-1kg粒	KUH-072Kジャンボ		
	* KUH-072Kフロアブル	KUH-074ジャンボ		
	KUH-074-0.25kg粒	KUH-074L-1kg粒		
	KUH-091-1kg粒	* KUH-101ジャンボ		
	* KUH-101-0.25kg粒	* KUH-101-1kg粒		
	* KUH-103-1kg粒	* KYH-1001フロアブル		
	* KYH-1001-1kg粒	MIH-101-1kg粒		
	* MIH-102フロアブル	* MIH-102(H)フロアブル		
	* MIH-103ジャンボ	NC-385SB-1kg粒		
	NC-397-1kg粒	NC-609-1kg粒		
	* NC-626ジャンボ	* NC-626顆粒水和		
	NC-626-1kg粒	NC-627フロアブル		
	* NC-627顆粒水和	NC-627-1kg粒		
	* NC-629ジャンボ	* NC-629フロアブル		
	* NC-629-1kg粒	* NC-631ジャンボ		
	* NC-631顆粒水和	* NC-631-1kg粒		
	* NC-632ジャンボ	* NC-632-1kg粒		
	* NH-061ジャンボ	* NH-061-0.25kg粒		
	NH-061-1kg粒	NH-071Dフロアブル		
	* NH-1001(H)ジャンボ	* NH-1001(H)フロアブル		
	* NH-1001(H)-1kg粒	* NH-596ジャンボ		
	NH-596フロアブル	NH-596-1kg粒		
	S-9058ジャンボ	S-9058フロアブル		
	S-9058-1kg粒	S-9102粒		
	S-9421ジャンボ	S-9421フロアブル		
	S-9421-1kg粒	SB-531フロアブル		

区　分	実・継		継	
A-1 一発処理　つづき	SB-564ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SB-564ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	SB-564-1kg粒	SL-0601ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	SL-0601-1kg粒	SL-0602-1kg粒		
	＊SL-0701ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SL-0701-1kg粒		
	SL-0701(RC)-0.5kg粒	＊SL-1001-1kg粒		
	SL-4902ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SW-043-1kg粒		
	SW-052ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SW-062ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊SW-064-1kg粒	SW-091-1kg粒		
	SYJ-156Hｼﾞｬﾝﾎﾞ	SYJ-157-1kg粒		
	SYJ-157Hｼﾞｬﾝﾎﾞ	SYJ-222-1kg粒		
	＊SYJ-223ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊SYJ-223-1kg粒		
	TH-501ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	TH-501-1kg粒		
	TH-547(Z)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	TH-547(Z)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	TH-547(Z)-1kg粒	TH-601ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	KUH-072K-0.25kg粒	SYJ-219-1kg粒		
	KUH-883(L)-1kg粒			
A-2 体系(初期)	HOK-0901ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0901-1kg粒	BAH-1103-1kg粒	KPP-507ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	KPP-314ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SB-531ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量散布)	MAT-159ｼﾞｬﾝﾎﾞ(少量散布)	
A-3 体系(中後期)	HOK-0721粒	HOK-0802-1kg粒	BCH-100-1kg粒	KPP-129-1kg粒
	KUH-983-0.25kg粒	＊MIH-104-1kg粒	NH-1101-1kg粒	SW-064-1kg粒
	＊NC-630-1kg粒	＊SL-0601ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	＊SL-0602-1kg粒	SL-0613顆粒水和		
	SL-0613顆粒水和(顆粒のまま散布)	＊SL-0701-1kg粒		
	＊SL-0701(RC)-0.5kg粒	SW-051-1kg粒		
	SW-063-1kg粒	＊SYJ-222-1kg粒		
	DASH-001SC	＊KUH-104-1kg粒		
A-4 ｴｿﾞﾉｻｻﾔﾇｶｸﾞｻ	＊SL-0604-1kg粒		MIH-102(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NH-1001(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
			NH-1001(H)-1kg粒	S-9058ｼﾞｬﾝﾎﾞ
			S-9058ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	S-9058-1kg粒
			S-9421ｼﾞｬﾝﾎﾞ	S-9421ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
			S-9421-1kg粒	SYJ-222-1kg粒
			TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	TH-601-1kg粒
A-4 ｵﾓﾀﾞｶ	＊BAH-041-1kg粒	BCH-085L-1kg粒	BCH-105H-1kg粒	BCH-105L-1kg粒
	＊HOK-0301ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊HOK-0605ｼﾞｬﾝﾎﾞ	HOK-0801S-1kg粒	HOK-1002-1kg粒
	＊HOK-0721粒	＊HOK-0801ｼﾞｬﾝﾎﾞ	HOK-1002(L)-1kg粒	KPP-505-1kg粒
	＊HOK-0801-1kg粒	＊HOK-0801(L)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-074ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-091-1kg粒
	＊HOK-0801(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊HOK-0801(L)-1kg粒	KUH-101-1kg粒	KUH-103-1kg粒
	＊HOK-0802-1kg粒	＊KPP-398-1kg粒	MIH-101-1kg粒	MIH-102ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊KPP-398(L)-1kg粒	＊KPP-406(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	MIH-102(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	MIH-103ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊KPP-501-1kg粒	＊KPP-501(L)-1kg粒	MIH-104-1kg粒	NC-626ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊KUH-021-0.25kg粒	＊KUH-041ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-627顆粒水和	NC-629ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊KUH-041-0.25kg粒	＊KUH-072D-1kg粒	NC-629ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NC-629-1kg粒
	＊KUH-072K-1kg粒	＊KUH-074-0.25kg粒	NC-631ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-631顆粒水和

区　分	実・継		継	
A-4 オモダカ つづき	* KUH-074-1kg粒	* KUH-104-1kg粒	NC-631-1kg粒	NC-632ジャンボ
	* NC-606フロアブル	* NC-609-1kg粒	NC-632-1kg粒	NH-061ジャンボ
	* NC-626-1kg粒	* NC-627ジャンボ	NH-061-0.25kg粒	NH-1001(H)フロアブル
	* NC-627フロアブル	NC-627-1kg粒	NH-1001(H)-1kg粒	NH-1101-1kg粒
	* NH-596フロアブル	* S-9421フロアブル	NH-596-1kg粒	S-9058ジャンボ
	* S-9421-1kg粒	* SB-556フロアブル	S-9058フロアブル	S-9058-1kg粒
	* SB-556-1kg粒	* SW-043-1kg粒	S-9102粒	S-9421ジャンボ
	* SW-052ジャンボ	* SW-061-1kg粒	SL-0701ジャンボ	SW-064-1kg粒
	* TH-501ジャンボ	* TH-501フロアブル	SW-091-1kg粒	SYJ-222-1kg粒
	* TH-501-1kg粒	* TH-601ジャンボ		
	* TH-601フロアブル	* TH-601-1kg粒		
	* YH-650-1kg粒	DASH-001SC		
	SL-4903-1kg粒			
A-4 クサネム			NC-627-1kg粒	
A-4 クログワイ	* BAH-041-1kg粒	BCH-085L-1kg粒	BCH-105H-1kg粒	BCH-105L-1kg粒
	* HOK-0721粒	* HOK-0801(L)ジャンボ	HOK-0801S-1kg粒	HOK-1002(L)-1kg粒
	* HOK-0801(L)フロアブル	* HOK-0801(L)-1kg粒	HOK-1002-1kg粒	KPP-505-1kg粒
	* HOK-0802-1kg粒	* KPP-314フロアブル	KUH-091-1kg粒	KUH-101-1kg粒
	* KPP-398(L)-1kg粒	* KPP-406(L)フロアブル	KUH-103-1kg粒	MIH-101-1kg粒
	* KPP-501-1kg粒	* KPP-501(L)-1kg粒	MIH-102フロアブル	MIH-103ジャンボ
	* KUH-041ジャンボ	* KUH-072D-1kg粒	MIH-104-1kg粒	NC-626ジャンボ
	* KUH-072K-1kg粒	* KUH-073-1kg粒	NC-629ジャンボ	NC-629フロアブル
	* KUH-074ジャンボ	* KUH-074-0.25kg粒	NC-629-1kg粒	NC-630-1kg粒
	* KUH-074-1kg粒	* KUH-104-1kg粒	NC-631ジャンボ	NC-631顆粒水和
	* NC-609-1kg粒	* NC-617SB-1kg粒	NC-631-1kg粒	NC-632ジャンボ
	* NC-618-1kg粒	* NC-621-1kg粒	NC-632-1kg粒	NH-061ジャンボ
	* NC-626-1kg粒	* S-9421フロアブル	NH-061-0.25kg粒	NH-1001(H)フロアブル
	* S-9421-1kg粒	SL-0701-1kg粒	NH-1001(H)-1kg粒	NH-1101-1kg粒
	SST-403ジャンボ	* SW-043-1kg粒	NH-596フロアブル	NH-596-1kg粒
	* SW-052ジャンボ	* SW-061-1kg粒	S-9058ジャンボ	S-9058フロアブル
	* TH-501ジャンボ	* TH-501フロアブル	S-9058-1kg粒	S-9102粒
	* TH-501-1kg粒	* TH-601ジャンボ	S-9421ジャンボ	SL-0701ジャンボ
	* TH-601フロアブル	* TH-601-1kg粒	SYJ-222-1kg粒	
	* SL-4903-1kg粒			
A-4 コウキヤガラ	* BAH-041-1kg粒	* BCH-032-1kg粒	BCH-052フロアブル	BCH-053フロアブル
	* BCH-033-1kg粒	* KPP-314フロアブル	BCH-062ジャンボ	BCH-063ジャンボ
	* KPP-406(L)フロアブル	* KPP-501(L)-1kg粒	KPP-505-1kg粒	KUH-101-1kg粒
	* KUH-021-0.25kg粒	* KUH-074ジャンボ	NC-632ジャンボ	NC-632-1kg粒
	* KUH-104-1kg粒	* S-9421フロアブル	S-9058ジャンボ	S-9058フロアブル
	* S-9421-1kg粒	* SL-0401-1kg粒(1kg処理)	S-9058-1kg粒	S-9102粒
	SL-0401-1kg粒(1.5kg処理)	* SL-0601-1kg粒	S-9421ジャンボ	SL-0701ジャンボ
	* SL-0701-1kg粒	* SL-4902フロアブル	SW-063-1kg粒	SYJ-222-1kg粒
	* SST-403ジャンボ	SW-051-1kg粒		

区　分	実・継		継	
A-4 ｺｳｷﾔｶﾞﾗ つづき	＊TH-501ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊TH-501-1kg粒		
	＊TH-547(Z)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊TH-547(Z)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊TH-601ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊TH-601-1kg粒	YH-650-1kg粒		
	＊YH-652ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊YH-652-1kg粒		
A-4 ｼｽﾞｲ	＊BAH-041-1kg粒	＊KPP-398-1kg粒	BCH-031-1kg粒	BCH-033-1kg粒
	＊KUH-073-1kg粒	＊KUH-104-1kg粒	BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊NC-606ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊NC-621-1kg粒	BCH-052ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-053ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊S-9421ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊SL-0601ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊SL-0701-1kg粒	＊SL-4902ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0605ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0605-1kg粒
	＊SST-403-1kg粒	＊TH-501-1kg粒	HOK-0721粒	HOK-0801ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊TH-601-1kg粒	HOK-0801-1kg粒	KPP-501-1kg粒
			KUH-041-0.25kg粒	KUH-091-1kg粒
			NC-606-1kg粒	NC-626-1kg粒
			NC-630-1kg粒	S-9058ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
			S-9058-1kg粒	S-9421-1kg粒
			SL-0604-1kg粒	SW-061-1kg粒
			SYJ-222-1kg粒	TH-501ｼﾞｬﾝﾎﾞ
			TH-601ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ
A-4 ﾐｽﾞｱｵｲ	＊KUH-041-1kg粒	BCH-031-1kg粒	BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	MIH-102(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
			S-9058ｼﾞｬﾝﾎﾞ	S-9058ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
			S-9058-1kg粒	S-9421ｼﾞｬﾝﾎﾞ
			S-9421ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	S-9421-1kg粒
			SYJ-222-1kg粒	DASH-001SC
			MIH-102(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-031-1kg粒
			BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
A-4 雑草ｲﾈ	＊SYJ-167-1kg粒		BCH-031-1kg粒	BCH-032-1kg粒
			BCH-033-1kg粒	SL-0604-1kg粒
			SYJ-219-1kg粒	
B-1 直播(移植A-1剤)	＊BAG-032ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊BCH-031-1kg粒	BCH-032-1kg粒	BCH-033-1kg粒
	BCH-044-1kg粒	＊HOK-0605(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	HOK-0605S-1kg粒	＊HOK-0801-1kg粒	BCH-052ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-053ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊HOK-0801(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊HOK-0801(L)-1kg粒	BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	KUH-021-1kg粒	NBA-101SBｼﾞｬﾝﾎﾞ	HOK-0801(L)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	HOK-223ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	NC-606ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊NC-627顆粒水和	KUH-021-0.25kg粒	KUH-091-1kg粒
	＊NC-627-1kg粒	S-9146-1kg粒	KUH-101-1kg粒	MIH-101-1kg粒
	＊SB-564ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊SB-564-1kg粒	NC-626-1kg粒	SL-0601ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊SL-0601(RC)-0.5kg粒	＊SL-0701-1kg粒	SL-1001-1kg粒	MY-100DC(L)-1kg粒
	＊SL-0701(RC)-0.5kg粒	SST-404ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BAH-041-1kg粒	
	SST-404-1kg粒	＊SW-052ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	＊SYJ-156-1kg粒	＊TH-501-1kg粒		
	＊TH-547(Z)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊TH-547(Z)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊TH-547(Z)-1kg粒	＊TH-601ｼﾞｬﾝﾎﾞ		

区　分	実・継	継
B-1 直播(移植A-1剤)　つづき	＊TH-601フロアブル　＊TH-601-1kg粒 HOK-0605(L)-1kg粒	
B-2 直播(移植A-2剤)	KUH-983-1kg粒　SL-0401-1kg粒 SL-4901フロアブル　SL-4901フロアブル(少量散布) SW-751粒　SW-751粒(少量散布) ＊YH-650フロアブル(希釈して全面散布)　＊YH-650-1kg粒	KUH-983-1kg粒(少量散布)
B-3 直播(移植A-3剤)	NC-612-1kg粒　SL-0613顆粒水和 HOK-0721粒	HOK-0802-1kg粒　KUH-983-0.25kg粒 SL-0613顆粒水和(顆粒のまま散布)
B-4 直播(その他)	NC-331水和	
C 畦畔	＊SB-211フロアブル	

注)：1)本年度新規に使用基準が作成されたものは、薬剤名に「＊」を記した。
　　2)本年度は「実」,「継？」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

平成23年度　水稲関係除草剤使用基準一覧表

A　移植栽培

A-1・　一発処理

A-1　　1

BAH-041-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		○前～始※	○発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始※	●前～始※	○発生期			シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	○前～始※	○前～始※	○発生期		○前				○	○
関東・東海	○1.5	○	○2		○始	○始	○始※	○前～始※	○発生期		○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○2		○始	○始	●前～始※	○始※	○発生期		○前	コウキヤガラ:始			○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～始※	●前～始※	○発生期			コウキヤガラ:始			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　4

BCH-031-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:1L 2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		クサネム:2L			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始 2	○始※	○始	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L		○*	○
関東・東海	○~~2.5~~ 3	○	○~~2~~ 3		○~~2~~ 3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		クサネム:2L	+5～ノビエ~~2.5L3L~~ (砂壌土は2.5Lまで)		○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始	○発生期	○再生前～始		クサネム:2L	+5～ノビエ3L		○	○
九州	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+5～ノビエ~~2.5L3L~~ (砂壌土は2.5Lまで)		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　*:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,関東・東海)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道,北陸,近・中・四,九州)
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　5

BCH-032-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタル	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○*	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。(北海道)
*:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 6

BCH-051 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○前～始※	○発生期	○再生前～始		ｴｿﾞﾉﾃﾞﾔﾔｽｶｹﾞﾃ:2L	+5～ノビエ2.5L	30g×10ｺ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		○前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○前～始	○始※	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	~~○2~~ 3		○2	~~○2~~ 3	○始	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道, 東北, 関東・東海, 近・中・四, 九州)
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(北陸)。
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸, 近・中・四)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海, 九州)

A-1 7

BCH-051 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期	○再生前～始		ｴｿﾞﾉﾃﾞﾔﾔｽｶｹﾞﾃ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○ 3	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生期				+5～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○ 3	○	○3		○2	○2	○始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	~~○2.5~~ 3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			~~+5～ノビエ2.5L~~3L(砂壌土は2.5Lまで)		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
水口処理可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道, 東北, 関東・東海, 近・中・四, 九州)
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸)
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北, 北陸, 近・中・四)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海, 九州)

A-1 10

BCH-101-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ3L	1kg		●
東北	●3	●	●3	●2	●3	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●3	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四 (暮)	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(東北)
コナギ多発田では早めに使用する。

A-1 11

BCH-105H-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 12

BCH-105L-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期				+0～ノビエ2.5L	1kg		●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2L			●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L		●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 13

HOK-0701S ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2L	70g×10ｺ	○	○
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1　　14

HOK-0801(L) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始	●前～始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※		○発生期	○再生前～始						○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　15

HOK-0801(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●前～始		○発生期	○再生前			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2 3		○2	○2	●前～始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始	○始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　16

HOK-0801(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●前～始		○発生期	○再生前			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2 3		○始	○2	●前～始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 17

HOK-0801S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始				○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L(砂壌土は2Lまで)		●	○
近・中・四 (暖)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L		●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 18

HOK-1002 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2L	30g×10コ		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L		●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1 19

HOK-1002 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L		●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 20

HOK-1002-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L			●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 21

HOK-1002(L) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	30g×10コ	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(近・中・四,九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 22

HOK-1002(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前(藻類)		+5～ノビエ2.5L	500ml	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

全面散布(北陸)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 23

HOK-1002(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	1kg	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 浅植え, 植付け精度不良等で板が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 27

KPP-398(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	○始		○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○1.5	○	○始		○2	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件に,より除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 28

KPP-398(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	○前～始	○始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg	●	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○1.5	○	○始	○前	○始	○始	●前～始※	●始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　29

KPP-406(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道													+0～ノビエ2.5L	500ml		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※		○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始	●前～始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			●	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　30

KPP-505-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●3	●	●3	●3	●3	●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L	1kg	●	●
北陸	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●3			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●2		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　33

KUH-021 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ3L	25g×10コ		○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 34

KUH-041 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始※		○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始		●前～始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 35

KUH-041-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●前～始	○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2 3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

湛水周縁部散布可能

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 36

KUH-041-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:始	+0～ノビエ3L(砂壌土は+3～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○3	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+0～ノビエ3L(~~早期および~~砂壌土は+3～)		○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　37

KUH-072D ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ	●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　38

KUH-072D フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	500ml	●	●
関東・東海	●2.5	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　39

KUH-072D-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○

湛水周縁部散布可能(北陸～九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 40

KUH-072D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●前～始	●始	○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始	●前～始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					●	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国, 九州)
散布後の蒸しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 41

KUH-072K ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ		●
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1 42

KUH-072K フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

A-1　　43

KUH-074 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●前～始		○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　44

KUH-074-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始		●前～始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

湛水周縁部散布可能(北海道～北陸, 近畿・中国・四国, 九州)

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　46

KUH-074L-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2L	1kg	○	○
東北	○2	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 49

KUH-091-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ3L	1kg		○
東北	○3	○	○2 3	○3	○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四 (苗)	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 50

KUH-101 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 51

KUH-101-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2				●発生期	●再生前～始						●
近・中・四 (苗)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

湛水周縁部散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　52

KUH-101-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●3		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	1kg		●
東北	●3	●	●3	●3	●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●3	●	●2		●始											●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
近・中・四　(普)	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●3	●	●2		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　55

KUH-103-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2				●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　57

KYH-1001 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	500ml	●	●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 58

KYH-1001-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	1kg	●	●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 59

MIH-101-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期				+5～ノビエ3L	1kg		○
東北	○3	○	○3	○3	○3	○始			○発生期						●	○
北陸	○3	○	○2 3		○2 3	○始 2			○発生期	●再生前～始					●	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始	●前				○*	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	●再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始						○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
*:浅植え, 植付け精度不良等で株が露出すると薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 61

MIH-102 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●3	●	●2		●3	●2			●発生期				+5～ノビエ3L	500ml	●	●
北陸	●3	●	●3		●2	●2			●発生期							●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期							●

ノビエ3L処理は全面散布
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 62

MIH-102(H) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●3		●2			●発生期				+5～ノビエ3L	500ml		●
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 63

MIH-103 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●3	●	●3	●2	●3	●始			●発生期				+5～ノビエ3L	50g×10コ	●	●
北陸	●3	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四 (普)	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期							●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 70

NC-385SB-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期				+0～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 71

NC-397-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ1.5L	1kg		○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○前				○再生前～始			+0～ノビエ1.5L(砂壌土は+3～)		○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L		○	○
近・中・四 (岩)	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
九州																

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 72

NC-609-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:1L SU低抗性ホタルイ:1L	+0～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○3	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					●	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1 73

NC-626 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	30g×10コ		●
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●2			●発生期						●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 74

NC-626 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	80g(散布液量500ml)		●
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期							●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

顆粒のまま水口散布可能(専用袋使用)

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 75

NC-626-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●前～始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始※	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○始	●始※		○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 76

NC-627 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期	○再生前～始		ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					○*	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○

水口処理可能

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: *:散布後の低温条件により薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道～近・中・四)

A-1 77

NC-627 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	80g(散布液量500ml)		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期							●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

顆粒のまま水口散布可能(専用袋使用)

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 78

NC-627-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始	○発生期	○再生前～始		ミズアオイ2L SU抵抗性ホタルイ2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		○始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 79

NC-629 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●3		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	40g×10コ		●
東北	●3	●	●3	●2	●3	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●3	●	●2		●始	●始			●発生期							●
関東・東海	●3	●	●3		●始	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●2		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　80

NC-629 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●3		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	500ml		●
東北	●3	●	●3		●3	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●3	●	●2		●2	●始			●発生期							●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四　(普)	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　81

NC-629-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●3	●	●3	●2	●3	●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	1kg	●	●
北陸	●3	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●2		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　82

NC-631 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	30g×10コ		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期						●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 83

NC-631 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	80g(散布液量500ml)		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

顆粒のまま水口散布可能(専用袋使用)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 84

NC-631-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg	●	●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 85

NC-632 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●3	●	●3	●2	●3	●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L	40g×10コ	●	●
北陸	●3	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●2		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　87

NC-632-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●3	●	●3	●2	●3	●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L	1kg	●	●
北陸	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　89

NH-061 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ		●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始				●発生期	●再生前～始						●
近・中・四　(普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　90

NH-061-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g		●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能(東北)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 91

NH-061-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｴｿﾞﾉｻﾞﾔﾇｶｶﾞｻ:2L	+3～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○3	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 92

NH-071D フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○

田植同時散布可能
水口処理可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 93

NH-1001(H) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	60g×10ﾛ		●
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1 94

NH-1001(H) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理確認(北海道,東北)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 95

NH-1001(H)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(東北)
浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生じることがある。(東北)

A-1 96

NH-596 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期				+3～ノビエ2.5L	50g×10コ	●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1 97

NH-596ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(旧 SB-596ﾌﾛｱﾌﾞﾙ)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期				+3～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始		●前～始※	○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 98

NH-596-1kg粒(旧 SB-596-1kg粒)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期				+3～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			●発生期						●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○
九州	○2.5	○	○3		○2	○2			○発生期							○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 99

S-9058 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期				+5～ノビエ3L	40g×10コ	●	○
東北	○3	○	○3	○3	○2	○2			○発生期						○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	●再生前～始						○
関東・東海	○3	○	○23		○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　100

S-9058 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期				+5～ノビエ3L	500ml	●	○
東北	○3	○	○3	○3	○2	○2			○発生期						○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○始			○発生期	●再生前～始					●	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　101

S-9058-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期				+5～ノビエ3L	1kg	●	○
東北	○3	○	○3	○3	○2	○2			○発生期						○	○
北陸	●3	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	○3	○	○3		○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　102

S-9102 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2L	3kg	●	○
近・中・四　(普)	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 104

S-9421 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期				+5～ノビエ3L	20g×10ｺ		○
東北	○3	○	○2	○2	○3	○2			○発生期						○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始			○発生期						●	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○3	○	○3		○2 3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 105

S-9421フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		●前～始	○発生期				+5～ノビエ3L	500ml	●	○
東北	○3	○	○3	○ 2	○3	○2	●始※	●前～始※	○発生期			シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○2 3		○2 3	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○3	○	○2		○3	○3	●始※	●始	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3	●始	●前～始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北海道)
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 106

S-9421-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		●前～始	○発生期				+5～ノビエ3L	1kg	●	○
東北	○3	○	○3	○3	○3	○2	●前～始※	●前～始※	○発生期						○	○
北陸	○3	○	○2 3		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	●前～始※	●始	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○3	●始	●前～始	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北海道)
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　110

SB-531 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始					○発生期				+0～ノビエ2L	500ml	●	○
東北	○2	○	○2	○2	○2				○発生期							○
北陸	○2	○	○2		○始											○
関東・東海	○2	○	○2		○2				○発生期						●	○
近・中・四 (暖)	○2	○	○2		○2				○発生期						●	○
九州	○2	○	○2		○始 2				○発生期							○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　111

SB-564 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期				+3～ノビエ2L	30g×10ｺ	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生期						○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期				+0～ノビエ2L		○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期				+0～ノビエ2L ~~(砂壌土は+3～)~~		○	○
九州	○2	○	○2	○始	○2	○2		○始※	○発生期				~~+0~~+3～ノビエ2L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　112

SB-564 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2		○始			○発生期			ﾐｽﾞｱｵｲ:2L	+0～ノビエ2L(砂壌土は+3～)	500ml	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期			ｼﾞｽﾞｲ:草丈3cm	+0～ノビエ2L		○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期			ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始	○始		○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期			ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始	+0～ノビエ2L~~(砂壌土は+3～)~~		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　113

SB-564-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2		○始			○発生期			ミズアオイ:2L	+0～ノビエ2L(砂壌土は+3～)	1kg	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期			シズイ:草丈3cm	+0～ノビエ2L		○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期			コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始	○始		○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期			コウキヤガラ:始	+0～ノビエ2L(砂壌土は+3～)		○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　114

SL-0601 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○3	○4		○3	○草丈10cm※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm	+7～ノビエ4L	50g×10コ	○	○
北陸	○4	○	○4			○2	○草丈10cm	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○4			○3	○草丈10cm※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○4	○	○4			○3	○草丈10cm	○始	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ4L(砂壌土は+7～)		○	○
九州	○4	○	○4			○4			○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+7～ノビエ4L		○	○

一年生広葉雑草以外のSU抵抗性雑草は対象としない。

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　115

SL-0601-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○4	○4		○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始 シズイ:草丈3cm	+7～ノビエ4L	1kg	○	○
北陸	○4	○	○3			○2	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期						○	○
関東・東海	○4	○	○4			○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始 SU抵抗性コナギ:3L			○	○
近・中・四	○4	○	○4			○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+5～ノビエ4L(砂壌土は+7～)		○	○
九州	○4	○	○4			○4			○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+7～ノビエ4L		○	○

一年生広葉雑草以外のSU抵抗性雑草は対象としない。

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　116

SL-0602-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○3	○4	○4	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:草丈20cm以下 シズイ:草丈3cm	+7～ノビエ4L	1kg	○	○
北陸	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:草丈20cm以下 SU抵抗性ﾏﾂﾊﾞｲ:3L			○	○
近・中・四	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:草丈20cm以下	+5～ノビエ4L(砂壌土は+7～)		○	○
九州	○4	○	○4		○4	○4	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:草丈20cm以下	+7～ノビエ4L		○	○

一年生広葉雑草以外のSU抵抗性雑草は対象としない。

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　117

SL-0701 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●3	●4	●3	●3			●発生期	●再生前～始			+7～ノビエ4L	50g×10コ	●	●
北陸	●3	●	●3		●2	●始			●発生期	●再生前～始			+7～ノビエ3L			●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L(砂壌土は+7～)		●	●
九州	●3	●	●4		●4	●4			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L			●

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　118

SL-0701-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○3	○3		○3			○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L	1kg		○
東北	○4	○	○4	○4	○2	○3		○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○4	○	○4		○2	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○4		○2	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+7～ノビエ4L	1kg	○	○
近・中・四	○4	○	○4		○2	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+5～ノビエ4L(砂壌土は+7～)		○	○
九州	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+5+7～ノビエ4L(砂壌土は+7～)	1kg	○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 119

SL-0701(RC)-0.5kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○2	○2		○3			○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L	500g	○	○
北陸	○4	○	○3		○2	○2			○発生期							○
関東・東海																
近・中・四																
九州																

均一散布
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 120

SL-1001-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●3		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L	1kg		●
東北	●3.5	●	●3	●3	●3	●2			●発生期				+5～ノビエ3.5L		●	●
北陸	●3.5	●	●3		●2	●2				●再生前～始			+5～ノビエ3.5L(砂壌土はノビエ3Lまで)		●	●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ3L			●
近・中・四 (普)	●3.5	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3.5L			●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L			●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 121

SL-4902 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期			ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｶﾞｻ:2L	+3～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期			シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前	ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前	ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-1　122

SW-043-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期		○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期		○前	ミズアオイ:1L			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○始	●前～始※	●前～始※	○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※	●始※	○発生期		○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　123

SW-052 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期		○前		+1～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		●前～始	○発生期		○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～始	○始	○発生期		○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○前～始※	○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●前～始※	○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期		○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-1　124

SW-062 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○前～始	○発生期			ミズアオイ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○前～始※	○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始	○前～始	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○前～始※	○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期						○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 125

SW-064-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海	●1	●	●始		●始	●始			●発生期				+0～ノビエ1L	1kg		●
近・中・四 (普)	●1	●	●始		●始	●始			●発生期						●	●
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 126

SW-091-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg	●	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L(砂壌土は1Lまで)		○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L(砂壌土は1Lまで)		●	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L		●	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期						●	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期						●	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 127

SYJ-156H ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ3L	50g×10コ		○
東北	○3	○	○3	○3	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1　　128

SYJ-157-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○~~2.5~~3	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ~~2.5~~3L	1kg	○	○
関東・東海	○~~2.5~~3	○	○~~2~~3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性コナギ:1L SU抵抗性ホタルイ:1L			○	○
近・中・四	○~~2.5~~3	○	○~~2~~3		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ~~2.5L3L(砂壌土は+3～)~~		○	○
九州	○~~2.5~~3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　129

SYJ-157H ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ3L	50g×10コ	●	○
関東・東海	○3	○	○3		○2 3	○2			○発生期	○再生前～始	●前				●	○
近・中・四　(普)	○3	○	○3		○2	○3			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え, 植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(関東・東海)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(九州)

A-1　　130

SYJ-222-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○4	○3	○4	○3			○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L	1kg	○	○
北陸	○4	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○3		○2 3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四　(普)	○4	○	○4		○4	○4			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○4	○	○4		○4	○4			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(近・中・四,九州)

A-1 131

SYJ-223 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●3		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	40g×10コ		●
東北	●3	●	●3	●2	●3	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●3	●	●2.5		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四 (普)	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 132

SYJ-223-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●3		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	1kg		●
東北	●3	●	●3	●2	●3	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 133

TH-501 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		ｴｿﾞﾉｻﾔﾔﾇｶｶﾞﾀ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:1L	+5～ノビエ3L	500ml	○*	○
東北	○3	○	○2	○3	○3	○始	●前～始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始 ｼﾞｽﾞｲ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○*	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	●前～始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			○	○

水口処理可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　134

TH-501-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始	○発生期	○再生前～始		ミズアオイ:1L エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○3	○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm	+0～ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○*	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	●始※	●前～始	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+5～ノビエ3L		○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　*:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　135

TH-547(Z) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ3L	40g×10コ	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　136

TH-547(Z) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ3L	500ml	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm コウキヤガラ:始			○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　137

TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○3	○3	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始 シズイ:草丈3cm	+0～ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○3	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+5～ノビエ3L		○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　138

TH-601 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	20g×10コ		●
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始※	●前～始	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※	●前～始	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+0～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四　(誉)	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●前～始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイコウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　139

KUH-072K-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能(北海道, 東北)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(東北)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1　140

SYJ-219-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期				+0～ノビエ2L	1kg	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期						○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○始			○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　141

KUH-883(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-2　体系(初期)

A-2　2

HOK-0901-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始										+0～ノビエ1L	1kg		○
東北	○1	○	○始										植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○始												○	○
関東・東海	○1	○	○前												●	○
近・中・四 (畑)	○1	○	○始													○
九州	○1	○	○始													○

田植同時散布可能
一発処理剤型除草剤の前処理剤として使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。

A-2 3

HOK-0901 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始										+0～ノビエ1L	500ml		○
東北	○1	○	○始										植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○始												○	○
関東・東海	○1	○	○前												●	○
近・中・四 (暖)	○1	○	○始													○
九州	○1	○	○始													○

水口処理確認(関東・東海)
田植同時散布可能
一発処理剤型除草剤の前処理剤として使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2 4

KPP-314 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○1	○	○始	○始			●前※						植代時(～-4),植代後～-4,+0～ノビエ1L	500ml	○	○
北陸	○1	○	○前												○	○
関東・東海	○1	○	○始				●前※					コウキヤガラ:前			○	○
近・中・四 (暖)	○1	○	○始												○	○
九州	○1	○	○始									コウキヤガラ:前				○

田植同時散布可能
植代時は植代直後湛水処理(~~水深3～5cm, 土壌混和はしない~~)土壌混和処理
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の高温により褐変・流れ葉などの薬害症状が助長され、強い生育抑制につながることがある。(九州)
深水条件では薬害を生じることがある。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2 7

SB-531 フロアブル(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始									+0～ノビエ1.5L	300ml	●	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始								植代後～-4,+0～ノビエ1.5L(砂壌土は+0～)		○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始								植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始										●	○
近・中・四 (暖)	○1.5	○	○始		○始										○	○
九州	○1.5	○	○始		○始								+0～ノビエ1.5L		●	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-3　体系(中後期)

A-3　2

HOK-0721 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○5	○	○5	○5	○5	○4	○生育期(草丈20cm以下)※	●生育期(矢じり葉1Lまで)	○生育期				+20～+40(イネ5L以降,ノビエ5Lまで)	3kg	○	○
北陸	○5	○	○5		○5	○4	○生育期(草丈20cm以下)	○生育期(矢じり葉1Lまで)	○生育期						○	○
関東・東海	○5	○	○5		○5	○5		○矢じり葉抽出前～矢じり葉1L※	○生育期						○	○
近・中・四	○5	○	○5		○5	○4	●生育期(草丈20cm以下)	○矢じり葉抽出前～矢じり葉1L	○生育期						○	○
九州	○5	○	○5		○5	○5	○生育期(草丈30cm以下)※	○矢じり葉抽出前～矢じり葉1L※	○生育期						●	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　3

HOK-0802-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○3.5	○	○3	○3	○3	○3		●生育期(矢じり葉1Lまで)※	○発生期		○始		+15～+35(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○2	●始～草丈10cm	●生育期(矢じり葉1Lまで)	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○2	○3		●生育期(矢じり葉1Lまで)	○生育期						○	○
近・中・四 (畿)	○3.5	○	○3		○3	○3	●始～草丈10cm	●生育期(矢じり葉1Lまで)	○発生期		●始				○	○
九州																

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 5

KUH-983-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4												+15～+35(ノビエ4Lまで)	250g		○
東北	○4														○	○
北陸	○4														○	○
関東・東海	○4														●	○
近・中・四	○4														●	○
九州	○4															○

周縁部散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-3 6

MIH-104-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●4	●	●4	●4		●3			●生育期	●生育期			+20～ノビエ4L(幼穂形成期まで)	1kg		●
東北	●4	●	●4	●3	●4	●3			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海	●4	●	●3		●4	●4			●発生期	●再生前～始			+20～ノビエ4L(幼穂形成期まで)	1kg	●	●
近・中・四 (普)	●3.5	●	●4		●4	●4			●発生期	●再生前～始			+20～ノビエ3.5L(幼穂形成期まで)			●
九州	●3.5	●	●4		●4	●4			●発生期	●再生期						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 8

NC-630-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海	●4	●	●4		●4	●3			●発生期	●再生前～始			+13～+30(ノビエ4Lまで)	1kg		●
近・中・四 (普)	●4	●	●4		●4	●4			●発生期	●再生前～始						●
九州	●4	●	●4		●4	●4			●発生期	●再生期						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　　12

SL-0601 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●3	●4		●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始			+14～+35(ノビエ4Lまで)	50g×10ｺ	●	●
北陸	●4	●	●4			●2	●草丈10cm	●矢じり葉抽出前	●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●4	●	●4			●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			●	●
近・中・四	●4	●	●4			●3	●草丈10cm	●矢じり葉抽出前	●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●4	●	●4			●4			●発生期	●再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			●	●

一年生広葉雑草以外のSU抵抗性雑草は対象としない。
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　　13

SL-0602-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●3	●4	●4	●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:草丈20cm以下 ｼﾝｶﾞｲ:草丈3cm	+14～+35(ノビエ4Lまで)	1kg	●	●
北陸	●4	●	●4		●3	●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●4	●	●4		●4	●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:草丈20cm以下 SU抵抗性ｺﾅ			●	●
近・中・四	●4	●	●4		●4	●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:草丈20cm以下			●	●
九州	●4	●	●4		●4	●4	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:草丈20cm以下			●	●

一年生広葉雑草以外のSU抵抗性雑草は対象としない
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　　15

SL-0613 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○5	○4	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:草丈30cm以下 ｼﾝｶﾞｲ:草丈30cm以下	+14～+40(イネ4L以降,ノビエ5Lまで)	1000g(散布液量100L)	○	○
北陸	○5	○	○4		○4	○4	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈20cm以下)※	○生育期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○5	○	○5		○5	○5	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:草丈30cm以下			○	○
近・中・四	○5	○	○5		○5	○5	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期					○	○
九州	○5	○	○花茎抽出始		○6	○6	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期					○	○

*:発生盛期～矢じり葉抽出期
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(関東・東海)
前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し，2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 16

SL-0613(顆粒のままの散布) 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○4	○4	○3	○3			○生育期	○生育期			+14～+40(イネ4L以降,ノビエ4Lまで)	1kg(顆粒のまま散布)	○	○
北陸	○4	○	○4		○3	○2			○生育期	○再生前～始			+14～+40(イネ4L以降,ノビエ4Lまで)		○	○
関東・東海	○4	○	○4		○3	○4			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○4	○	○4		○4	○3			○生育期	○再生前～始			+14～+40(イネ4L以降,ノビエ4Lまで)		○	○
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し，2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

A-3 17

SL-0701-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●4	●4	●2	●3		●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始			+14～+35(ノビエ4Lまで)	1kg	●	●
北陸	●4	●	●4		●2	●3	●草丈10cm	●矢じり葉抽出前	●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●4	●	●4		●2	●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始		コウキヤガラ:5台			●	●
近・中・四	●4	●	●4		●2	●3	●草丈10cm	●矢じり葉抽出前	●発生期	●再生前～始					●	●
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 18

SL-0701(RC)-0.5kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量・/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●2	●2		●3			●発生期	●再生前～始			+14～+35(ノビエ4Lまで)	500g	●	●
北陸	●4	●	●3		●2	●2			●発生期							●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

均一散布
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　19

SW-051-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○3.5	○	○3	○3	○3	○3	○草丈20cm※	○広線形葉4L※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:草丈15cm シズイ:草丈10cm	+20～+30(ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3	○草丈20cm※	○広線形葉4L	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○4	○3	○草丈20cm※	○広線形葉4L※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:草丈15cm			○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	○草丈20cm※	○広線形葉4L	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3.5	○	○3		○4	○4			○発生期						○	○

SU抵抗性雑草は対象としない。
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海)
クログワイ防除は有効な前後処理剤との組み合わせで使用する。(近畿・中国・四国)
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　20

SW-063-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5	○	○3	○4		○4		○* ※	○発生期				+25～+40(イネ4L以降,ノビエ5Lまで)	1kg	○	○
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○5	○2	○草丈15cm	○* ※	○発生期				+25～+40(ノビエ5Lまで)		○	○
北陸	○5	○	○5		○4	○3	○草丈30cm	○* ※	○生育期	○生育期			+20+25～+40(イネ4L以降,ノビエ5Lまで)		○	○
関東・東海	○5	○	○5		○4	○4	○草丈20cm	○* ※	○生育期	○生育期					○	○
近・中・四	○5	○	○5		○3	○4	○草丈30cm	○* ※	○生育期						○	○
九州	○5	○	○5		○5	○6	○草丈30cm※	○* ※	○生育期				+25～+40(ノビエ5Lまで)		○	○

*:発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　22

SYJ-222-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●4	●3	●4	●3			●発生期	●再生前～始			+20～+40(ノビエ4Lまで)	1kg	●	●
北陸	●4	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●4	●	●3		●2	●3			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四　(普)	●4	●	●4		●4	●4			●発生期	●再生前～始						●
九州	●4	●	●4		●4	●4			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-3 23

DASH-001 SC

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5	○	○花茎抽出始	○5		○4			○生育期	○生育期			+25～+40(イネ6L以降,ノビエ5Lまで)	100ml(散布液量100L)	○	○
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○4	○4	○草丈20cm※	○草丈30cm※	○生育期	○生育期		シズイ:生育期(草丈20cm以下)			○	○
北陸	○5	○	○花茎抽出始		○4	○5	○草丈30cm	○草丈30cm	○生育期	○生育期			~~+25~~+20～+40(イネ6L以降,ノビエ5Lまで)		○	○
関東・東海	○5	○	○花茎抽出始		○5	○5	○草丈30cm※	○草丈30cm※	○生育期	○生育期		コウキヤガラ:生育期(草丈20cm以下)	~~+25~~+20～+40(イネ5L以降,ノビエ5Lまで)		○	○
近・中・四	○5	○	○花茎抽出始		○5	○5	○草丈30cm	○草丈30cm		○生育期		クサネム:生育期(草丈20cm以下) コウキヤガラ:生育期(草丈20cm以下)	~~+25~~+20～+40(イネ~~5L6L~~5L以降,ノビエ5Lまで)		○	○
九州	○5	○	○花茎抽出始		○6	○6	○生育期(草丈30cm以下)※		○生育期	○生育期		コウキヤガラ:生育期(草丈20cm以下)	+20～+40(イネ5L以降,ノビエ5Lまで)		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 前処理剤との組合せで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 24

KUH-104-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道								●生育期(矢じり葉3Lまで)					+20～+40(イネ5L以降)	1kg	●	●
東北							●生育期(草丈30cm以下)※	●生育期(矢じり葉3Lまで)※				シズイ:生育期(草丈30cm以下)			●	●
北陸							●生育期(草丈30cm以下)※	●生育期(矢じり葉3Lまで)					+25～+45(イネ5L以降)			●
関東・東海							●生育期(草丈30cm以下)※	●生育期(矢じり葉3Lまで)				コウキヤガラ:生育期(草丈30cm以下)	+20～+30(イネ5L以降)			●
近・中・四 (普)							●生育期(草丈30cm以下)※	●生育期(矢じり葉3Lまで)				コウキヤガラ:生育期(草丈30cm以下)	+20～+40(イネ5L以降)		●	●
九州 (普)							●生育期(草丈30cm以下)※	●生育期(矢じり葉3Lまで)※				コウキヤガラ:生育期(草丈30cm以下)			●	●

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(エゾノサヤヤヌカグサ)

A-4 エゾノサヤヤヌカグサ

SL-0604-1kg 粒

地域名	対象雑草: エゾノサヤヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 特殊雑草対象(オモダカ)

A-4 オモダカ

BAH-041-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	前～始	※	1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	○	前～始	※	
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	前～始	※	
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

BCH-085L-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

HOK-0301 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	500ml
東北	○	前～始	※	
北陸				
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	●	前～始	※	
九州	○	始	※	
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

HOK-0605 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

HOK-0721 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				3kg
東北	●	生育期(矢じり葉1Lまで)	※	
北陸	○	生育期(矢じり葉1Lまで)	※	
関東・東海	○	生育期(矢じり葉1Lまで)	※	
近・中・四	○	生育期(矢じり葉1Lまで)	※	
九州	○	生育期(矢じり葉1Lまで)	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し,2日間以上入水しない。

A-4 オモダカ

HOK-0801 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0801-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0801(L) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0801(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0801(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0802-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	生育期(矢じり葉1Lまで)	※	
北陸	●	生育期(矢じり葉1Lまで)		
関東・東海	●	生育期(矢じり葉1Lまで)		
近・中・四	●	生育期(矢じり葉1Lまで)		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KPP-398-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KPP-398(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KPP-406(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四	●	前～始		
九州				

使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KPP-501-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KPP-501(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸		前～始		
関東・東海				
近・中・四	●	前～始		
九州				

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KUH-021-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				250g
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KUH-041 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				25g×10ｺ
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KUH-041-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		250g
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KUH-072D-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	前～始		
九州				

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KUH-072K-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KUH-074-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				250g
東北	●	前～始	※	
北陸	●	前～始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KUH-074-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	始		
近・中・四	●	前～始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KUH-104-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	生育期(矢じり葉3Lまで)		1kg
東北	●	生育期(矢じり葉3Lまで)	※	
北陸	●	生育期(矢じり葉3Lまで)		
関東・東海	●	生育期(矢じり葉3Lまで)		
近・中・四	●	生育期(矢じり葉3Lまで)		
九州	●	生育期(矢じり葉3Lまで)	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:

A-4 オモダカ

NC-606 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-609-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-626-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-627 ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	30g×10コ
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道～近・中・四)

A-4 オモダカ

NC-627 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	500ml
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道～近・中・四)

A-4 オモダカ

NC-627-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NH-596フロアブル(旧SB-596フロアブル)

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

S-9421 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		500ml
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始		
近・中・四	●	前～始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

S-9421-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始		
近・中・四	●	前～始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SB-556 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		500ml
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SB-556-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		1kg
東北	○	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SW-043-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	前～始	※	
九州	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SW-052 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北	●	前～始		
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	●	前～始	※	
九州	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SW-061-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	前～始	※	
北陸	○	前～始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	前～始	※	
九州	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-501 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				40g×10ｺ
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-501 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	500ml
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-501-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		1kg
東北	○	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	前～始		
九州	○	始		

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-601 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				20g×10ｺ
東北	●	前～始		
北陸	●	始		
関東・東海	●	前～始		
近・中・四	●	前～始		
九州				

使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-601 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	500ml
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-601-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	1kg
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

YH-650-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	前～始	※	1kg
東北	○	前～始	※	
北陸	○	前～始	※	
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	前～始	※	
九州	○	前	※	

※:オモダカ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道,東北,北陸,関東・東海,近畿・中国・四国)
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,近畿・中国・四国,九州)

A-4 オモダカ

DASH-001 SC

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				100ml(散布液量100L)
東北	○	草丈30cm以下	※	
北陸	○	草丈30cm以下		
関東・東海	○	草丈30cm以下	※	
近・中・四	○	草丈30cm以下		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。

A-4 オモダカ

SL-4903-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	前～始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(クログワイ)

A-4 クログワイ

BAH-041-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	前～始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	前～始	※	
九州	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-085L-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	前～始		
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0721 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				3kg
東北	○	生育期(草丈20cm以下)	※	
北陸	○	生育期(草丈20cm以下)		
関東・東海				
近・中・四	●	生育期(草丈20cm以下)		
九州	○	生育期(草丈30cm以下)	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0801(L) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	前～始		
九州	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0801(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	前～始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0801(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	前～始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0802-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始～草丈10cm		
関東・東海				
近・中・四	●	始～草丈10cm		
九州				

使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-314 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海	●	前	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-398(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	前～始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	前～始		
九州	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-406(L) フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	○	前～始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	前～始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-501-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-501(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	前～始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-041 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				25g×10ｺ
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-072D-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	前～始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-072K-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-073-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	●	草丈10cm		
近・中・四	○	始		
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-074 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				25g×10ｺ
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-074-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				250g
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-074-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	前～始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-104-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	生育期(草丈30cm以下)	※	
北陸	●	生育期(草丈30cm以下)	※	
関東・東海	●	生育期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	●	生育期(草丈30cm以下)	※	
九州	●	生育期(草丈30cm以下)	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NC-609-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NC-617SB-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始～草丈10cm	※	
北陸	○	始～草丈10cm		
関東・東海	○	始～草丈10cm		
近・中・四	○	始～草丈10cm		
九州	○	始～草丈10cm	※	

※:クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)

A-4 クログワイ

NC-618-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始～草丈10cm	※	
北陸	○	始～草丈10cm		
関東・東海	○	始～草丈10cm		
近・中・四	○	始～草丈10cm		
九州	○	始～草丈10cm	※	

※:クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)

A-4 クログワイ

NC-621-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	○	始		
九州	○	始		

※:クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸,近・中・四,九州)

A-4 クログワイ

NC-626-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

S-9421 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

S-9421-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

SL-0701-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	草丈10cm		
関東・東海	○	草丈10cm	※	
近・中・四	○	草丈10cm		
九州	○	草丈10cm	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

SST-403 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				40g×10ｺ
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

SW-043-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	前～始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

SW-052 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北				
北陸	○	前～始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

SW-061-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	前～始	※	
北陸	○	前～始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-501 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				40g×10ｺ
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-501 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	前～始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-501-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-601 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				20g×10ｺ
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-601 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始		
九州	○	始		

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-601-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ

SL-4903-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	前～始	※	
北陸	○	前～始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 特殊雑草対象(コウキヤガラ)

A-4 コウキヤガラ

BAH-041-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四	●	始	
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

BCH-032-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

BCH-033-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

KPP-314 フロアブル

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州	●	前	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

KPP-406(L) フロアブル

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

KPP-501(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

KUH-021-0.25kg 粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			250g
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

KUH-074 ジャンボ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			25g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四	●	始	
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
KUH-104-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	生育期(草丈30cm以下)	
近・中・四	●	生育期(草丈30cm以下)	
九州	●	生育期(草丈30cm以下)	
使用上の注意:			

A-4 コウキヤガラ
S-9421 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
S-9421-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四	●	始	
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SL-0401-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	草丈10cm	
北陸			
関東・東海	○	草丈10cm	
近・中・四	●	草丈10cm	
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
SL-0401-1kg(1.5kg/10a処理) 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1.5kg
東北	○	草丈15cm	
北陸			
関東・東海	○	草丈15cm	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-0601-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-0701-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-4902 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SST-403 ジャンボ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州			
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SW-051-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	草丈10cm～15cm	
北陸			
関東・東海	○	草丈10cm～15cm	
近・中・四			
九州	○	草丈10cm～15cm	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-501 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四	○	始	
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-501-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-547(Z) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-547(Z) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ
TH-601 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			20g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

TH-601 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

TH-601-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

YH-650-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	○	前	
近・中・四			
九州	○	前	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

YH-652 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	始	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

YH-652-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	始	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 特殊雑草対象(シズイ)

A-4 シズイ

BAH-041-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

KPP-398-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

KUH-073-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

KUH-104-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	生育期(草丈30cm以下)	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 シズイ

NC-606 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
NC-621-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
S-9421 フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
SL-0601 ジャンボ

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			50g×10コ
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
SL-0701-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
SL-4902 フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

SST-403-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

TH-501-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

TH-601 フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

TH-601-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 特殊雑草対象(ミズアオイ)

A-4 ミズアオイ

KUH-041-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	始	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ

BCH-031-1kg 粒

地域名	対象雑草:　ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量　/10a
北海道	○	~~1L~~ 2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4　特殊雑草対象(雑草イネ)

A-4 雑草イネ

SYJ-167-1kg 粒

地域名	対象雑草:　雑草イネ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量　/10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	前～始(籾葉抽出期)	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　雑草イネ防除は有効な後処理剤との組合せで使用する。			

B 直播栽培

B－1 直播(移植A－1剤)

B-1 1

BAG-032 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2L	20g×10コ	●*	●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
*:砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 2

BCH-031-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 5

BCH-044-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○2	○始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 12

HOK-0605(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 13

HOK-0605S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg	●*	○

湛水直播
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
*:砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 14

HOK-0801-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道,東北	●2	●	●2	●前	●始					●再生前～始			イネ1L～ノビエ2L	1kg		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 16

HOK-0801(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	500ml	●*	●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
*:砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 17

HOK-0801(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	500ml	●	●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 20

KUH-021-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始			イネ出芽後～ノビエ3L	1kg		○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 処理後に出芽したイネは生育抑制を受けることがある。
イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

B-1 24

NBA-101SB ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	30g×10コ	●*	○

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
*:砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 25

NC-606 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L~~(砂壌土は2Lまで)~~	30g×10コ	○	○

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 27

NC-627 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	80g(散布水量500ml)		●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 28

NC-627-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 29

S-9146-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ3L	1kg	○	○

播種同時散布可能
湛水もしくは湛水ごく浅水状態, 乾田直播は入水後に使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B-1 30

SB-564 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●2	●	●始		●始				●発生期				イネ1L～ノビエ2L	500ml	●*	●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
*:砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1　31

SB-564-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●2	●	●2		●始	●始			●発生期				イネ1L～ノビエ2L	1kg	●*	●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
*:砂壌土は畑田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1　33

SL-0601(RC)-0.5kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北,北陸	●3	●	●3			●3			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ3L	500g		●

均一散布
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
一年生広葉雑草以外のSU抵抗性雑草は対象としない。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1　34

SL-0701-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●3	●	●3		●2	●3			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ3L	1kg		●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1　35

SL-0701(RC)-0.5kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北,北陸	●3	●	●2			●2				●再生前～始			イネ1L～ノビエ3L	500g		●

均一散布
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1　37

SST-404 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	40g×10コ	●	○

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 38

SST-404-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始			イネ出芽始～ノビエ2.5L(砂壌土はイネ出芽揃から)	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 39

SW-052 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期				イネ1L～ノビエ2.5L	50g×10コ	●*	●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
*:砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 40

SYJ-156-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道,東北	●3	●	●2						●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ3L	1kg		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 41

TH-501-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～近・中・四	●3	●	●2		●始	●始			●発生期				イネ出芽始～ノビエ3L	1kg	●*	●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
*:砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 42

TH-547(Z) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	●3	●	●2		●始	●始							入水5日後(イネ3L以降)～ノビエ3L	40g×10コ		●

乾田直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B-1 43

TH-547(Z) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●3	●	●2	●始	●始	●始			●発生期	●再生前～始			イネ出芽始～ノビエ3L	500ml		●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 44

TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ3L	1kg		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 45

TH-601 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	20g×10コ		●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 46

TH-601 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			イネ出芽始～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 47

TH-601-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			イネ出芽始～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 50

HOK-0605(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg	○	○

湛水直播
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B－2 直播(移植A－2剤)

B-2 1

KUH-983-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○4												イネ3L～ノビエ4L	1kg	○	○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-2 3

SL-0401-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○4		○4			○3							イネ1L,3L以降, ノビエ4Lまで(北海道,九州はイネ3L以降,九州はノビエ3Lまで)	1kg	○	○

SU抵抗性雑草を対象としない。
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤もしくは後処理剤との組み合わせで使用する。
イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-2 4

SL-4901 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	○1	○	○始		○始	○始			○発生期				代かき後～-4,+0～ノビエ1L	500ml	○	○

播種同時散布可能(落水またはごく浅水で散布した場合は散布後速やかに湛水する)
湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B-2 5

SL-4901 フロアブル(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	○1	○	○始		○始	○前			○発生期				代かき後～-4,+0～ノビエ1L	300ml		○

播種同時散布可能(落水またはごく浅水で散布した場合は散布後速やかに湛水する)
湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B-2　　6

SW-751 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○1.5	○	○始	○2		○2							+0～ノビエ1.5L（北海道～関東および砂壌土はノビエ1Lまで）	3kg	○	○

播種同時散布可能（落水またはごく浅水で散布した場合は散布後速やかに湛水する）
湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　後処理剤との組み合わせで使用する。

B-2　　7

SW-751 粒(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	○1	○	○始										+0～ノビエ1L	1.5kg	○	○

播種同時散布可能（落水またはごく浅水で散布した場合は散布後速やかに湛水する）
湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　後処理剤との組み合わせで使用する。

B-2　　8

YH-650 フロアブル(希釈して全面散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～近・中・四	●1.5	●	●始			●始			●発生期				+0～ノビエ1.5L	500ml（散布水量100L）		●

全面散布
湛水直播
イネ出芽前は落水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　後処理剤との組み合わせで使用する。
　　イネ出芽時に湛水状態になると薬害を生じる場合がある。

B-2　　9

YH-650-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～近・中・四	●1.5	●	●始			●始			●発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg		●

湛水直播
イネ出芽前は落水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　後処理剤との組み合わせで使用する。
　　イネ出芽時に湛水状態になると薬害を生じる場合がある。

B－3　直播（移植A－3剤）

B-3　　3

NC-612-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○3.5	○	○3		○3	○3			○発生期				イネ3L以降，ノビエ3.5Lまで	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する。
　　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-3 4

SL-0613 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	○5		○5		○4				○発生期				イネ5L以降,ノビエ5Lまで	1000g (散布液量100L)	●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

B-3 6

HOK-0721 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	○4	○	○4										イネ4L以降, ノビエ4Lまで	3kg		○

~~湛水直播~~
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

B－4 直播(その他)

B-4 1

NC-331 水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
関東・東海～九州		○	○前		○前	○前			○発生期	○再生前～始			入水前10～2日(イネ2L以降, 雑草草丈30cm以下)	90～180g(散布液量100L)		○

乾田直播
乾田条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

C 畦畔雑草

B-1 1

TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	対象雑草	処理時期	使用量(散布液量) /10a	適用土壌
全域	雑草全般	雑草生育期(草丈30cm以下)	500～1000ml(100L)	全土壌

使用上の注意: 水田内に流入または飛散すると薬害を生じる。

使用基準の更新

以下の剤について、使用基準を策定した。

1. 過去の使用基準を元に現行の様式による使用基準を策定。
2. 過去の使用基準に特殊雑草対象の本年度判定結果を加え、使用基準を策定。

A　移植栽培

A-1　一発処理

A-1

BCH-033-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		ｴｿﾞﾉｻｷﾔﾇｶｶﾞｻ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。(北海道)
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0301 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期			ｴｿﾞﾉｻｷﾔﾇｶｶﾞｻ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○前～始※	○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※		○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○前～始※	○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●前～始※	○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期						○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0605 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0801ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○前～始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0801-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

KPP-398-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○前	○始	○始	○前～始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

KPP-501(L)-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～始	●前～始	○発生期	○再生前～始	~~○前(藻類)~~		+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～始※		○発生期	○再生前～始	~~○前(藻類)~~	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～始	●前～始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	~~○前(藻類)~~	コウキヤガラ:始			○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

KPP-501-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	●前～始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

KUH-021-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ3L	250g	○	○
東北	○3	○	○3	○2	○3	○2		●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2 3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

湛水周縁部散布可能(北海道～九州)

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

KUH-072K-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(東北)
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

KUH-074-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		●前～始	○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○3	○3	○2	●前～始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2	●前～始	●前～始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	●始※	●始	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3	●前～始	●前～始	○発生期	○再生前～始	~~○前(藻類)~~				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始	~~○前(藻類)~~	コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸, 九州)
移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラは有効な後処理剤との組み見合わせで使用する。

A-1

NC-606フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○始		+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※	●始	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○始				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○始	○始※	●始※	○発生期		○始				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NC-617SB-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○3	○3		○3		○始～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L	1kg		○
東北	○4	○	○4	○4	○4	○3	○始～草丈10cm※	○始～矢じり葉1L	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm				○
北陸	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm	○始～矢じり葉1L							○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○3	○始～草丈10cm	○始～矢じり葉1L	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○4	○	○4		○4	○4	○草丈10cm	○広線形葉～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ4L			○
九州	○4	○	○4		○4	○4	○始～草丈10cm※	○始～矢じり1L※	○発生期	○再生前～始	○前(藻類)				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
深水条件では薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する(東北,北陸,関東・東海)。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する(関東・東海,九州)。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1

NC-618-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○4	○4		○3		○始～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L	1kg		○
東北	○3.5	○	○3	○3	○4	○3	○始～草丈10cm※	○始～矢じり葉1L	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm	+7～ノビエ3.5L			○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3	○草丈10cm	○始～矢じり葉1L	○発生期							○
関東・東海	○4	○	○4		○3	○3	○始～草丈10cm	○始～矢じり葉1L	○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L		○	○
近・中・四	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm	○始～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ4L			○
九州	○4	○	○4		○4	○4	○始～草丈10cm※	○始～矢じり1L※	○発生期	○再生前～始	○前(藻類)				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
深水条件では薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する(東北～関東・東海)。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1

NC-621-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2	○前	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	●始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○*	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　*:散布後の低温条件により薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸,近・中・四,九州)

A-1

NC-627ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期	○再生前～始		ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ2.5L	30g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道～近・中・四)

A-1

SL-4903-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L (砂壌土は2Lまで)	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～始※	○前～始※	○発生期				+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始		○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始				○

※:オモダカ・クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SST-403ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	40g×10コ	○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○前			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SST-403-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※		○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SW-061-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前～始※	○前～始※	○発生期				+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○前～始※	○前～始※							○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※	●前～始※	○発生期		~~○前(藻類)~~				○*	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※	●前～始※	○発生期						○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: *:浅植え, 植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(関東・東海)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SYJ-167~1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始					○発生期			ミズアオイ:1L	+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始										○	○
北陸	○2	○	○始		○始								+0～ノビエ2L		○	○
関東・東海	○2	○	○2		○始				○前			雑草イネ:前～始(穂葉抽出期)	+0～ノビエ2L(砂壌土はノビエ1.5Lまで)		○	○
近・中・四	○2	○	○始		○始				○前						○	○
九州	○1.5	○	○始		○始								+0～ノビエ1.5L		○	○

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
雑草イネ防除は有効な後処理剤との組合せで使用する。

A-1

TH-501ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L	40g×10コ	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	●始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○*	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	●始※	○始	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: *:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

TH-601フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始	○発生期	○再生前～始		ミズアオイ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

TH-601-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期	○再生前～始		ミズアオイ:1L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前(藻類)	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

YH-652 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期			SU抵抗性ホタルイ:2L コウキヤガラ:始	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※		○発生期			SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期			SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○前※	○始	○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期		○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1

YH-652-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期			コウキヤガラ:始	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○始	○始			○発生期			SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期			SU抵抗性コナギ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することにより効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は、有効な剤との組み合わせで使用する。

A-2　体系(初期)

A-2

YH-650-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		○前～始※	○発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始		○前		○前～始※	○発生期			クサネム:本葉1L	植代後～-4, +0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始			○始		○前～始※	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始			○始	○前※	○前～始※	○発生期			クサネム:本葉1L コウキヤガラ:前			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始			○始	○前	○前～始※	○発生期						○	○
九州	○1.5	○	○始			○始		○前※	○発生期			コウキヤガラ:前			○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,近畿・中国・四国,九州)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道,東北,北陸,関東・東海,近畿・中国・四国)
クサネムが残草または後発生した場合は有効な後処理剤を散布する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　体系(中後期)

A-3

KUH-073-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3.5	○	○3	○3		○3			○発生期		○始		+20～+35(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○
東北	○3.5	○	○3	○2	○3	○2	○始※	○始～広線形葉4L※	○発生期		○始	シズイ:草丈3cm	+20～+35(イネ5L以降, ノビエ3.5Lまで)		○	○
北陸	○3.5	○	○3		○2	○2	○始		○発生期		○始				○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○3	○3	●草丈10cm	○始～広線形葉4L※	○発生期		○前				○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	○始		○発生期		○前				○	○
九州　(早)	○3.5	○	○3	○2	○4	○4	○始※		○発生期				+20～+35(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)			○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SL-0401-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4		○4	○3		○4			○生育期				+20～+35 (ノビエ4Lまで)	1kg	○	○
東北	○4		○4	○4		○3	○草丈10cm※		○生育期			シズイ:草丈10cm コウキヤガラ:草丈10cm	+7～+35 (ノビエ4Lまで)		○	○
北陸	○4		○4			○3			○生育期						○	○
関東・東海	○4		○4			○3			○生育期			コウキヤガラ:草丈10cm			○	○
近・中・四	○4		○4			○4	○草丈10cm		○生育期			コウキヤガラ:草丈10cm			○	○
九州	○4		○4			○3			○生育期			コウキヤガラ:発生始			○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

水稲関係除草剤使用基準の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
   (本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
   草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。
   [例:○始 (発生始)、○2 (2葉期まで)]
   作期に限定がある場合は、地域名の後に適用作期を普通期:(普), 早期:(早)と記した。
   使用上の注意は別途一覧表に添って文章で備考欄に記載した。
2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、
   処理時期及び使用量を記載した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合、
   作期の拡大: 作期の限定がなくなった場合、作期の記載を取消線で消した。(例: (~~普~~))
   草種の拡大: 拡大された草種に●を印した。
   葉齢の拡大: 拡大された葉齢に、アンダーラインを付した。(例: ○2.5)
   処理時期,使用量の拡大: 拡大部分にアンダーラインを付した。(例: +3～ノビエ2L, 100～150ml/10a)
   土壌条件の拡大: 拡大された土壌に●を印した。
4. 藻類欄の/は、表層剥離への効果が確認されるまで判定を保留したもの。

「話のたねのテーブル」より

パパイアは原産地の名前の１つから

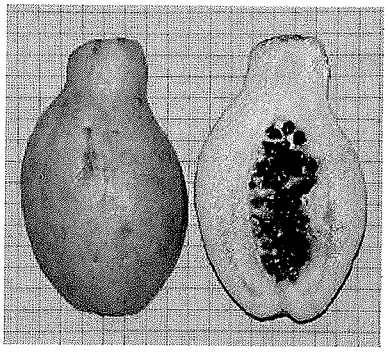
鈴木邦彦

パパイア（*Carica papaya* Linn. パパイア科，英名：papaya, papaw，中国名：木瓜，パパイヤとも呼ばれたが，学会ではパパイアに統一）の名前は，カリブ海地域での呼び名が元になっているといわれる。

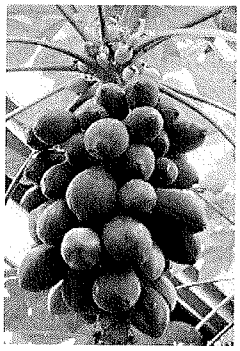
原産地はメキシコ南部～コスタリカなどの中南米の地域で，いくつかの野生種がある。それらが交雑して自然発生したものから良い特性を持ったものが選ばれ，栽培されるようになったのであろう。コロンブスが1492年にキューバへ上陸した時期以降に発見されたとされているが，これらの地域にはもっと古い時代，中国の明の時代に中国人が遠征を試み，実際に到達していたという説も囁かれている。ポリネシアやイースター島などの太平洋の島嶼部には，ヨーロッパ人が訪れたときにはすでにパパイアをはじめ，それらの地域を起源としない多くの作物が見られたという。

いずれにしても，古い文献に残っている記録としては，スペイン人のオヴィエドという人が1535年にスペイン王に宛てた手紙の中で，中央アメリカにパパイアの樹があったことを報告しており，その際，ニカラグアでは「オロコトン」と呼び，イスパニオラ島では「パパイア」の名前で呼ばれていたとしている。その後，スペイン人などがパパイアの名前で世界に伝え広めたのではないかと考えられる。

(話のたねのテーブルNo.171より転載)



▲ハワイの代表的品種「ソロ」



▲パパイアの果実

▲パパイアの雌花

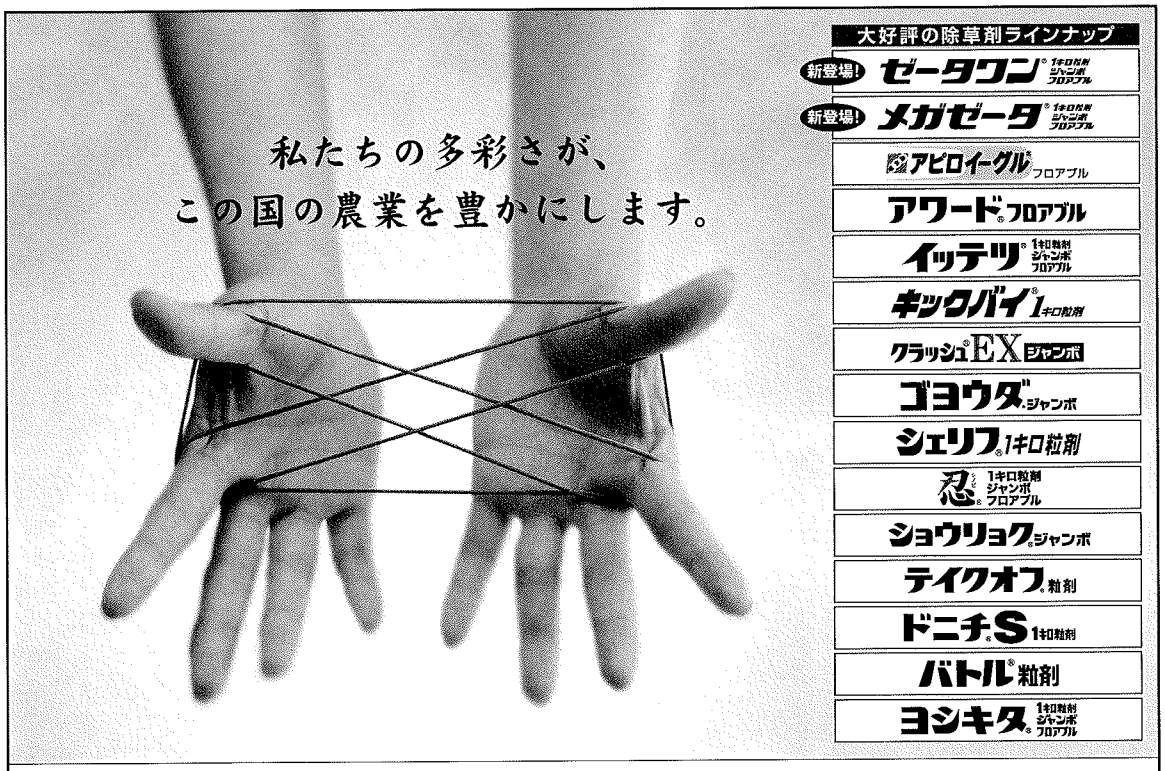
財団法人　日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東１丁目26番６号
電話　(03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
http://www.japr.or.jp/

編集人　日本植物調節剤研究協会　会長　小川　奎
発行人　植調編集印刷事務所　元村廣司

発行所　東京都台東区台東1－26－6　全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話　(03) 3833－1821 (代)
FAX　(03) 3833－1665

平成24年2月発行定価525円(本体500円＋消費税25円)
植調第45巻第11号　(送料270円)　印刷所　㈲ネットワン

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています



会員募集中 農業支援サイト i-農力 http://www.i-nouryoku.com お客様相談室 0570-058-669

■農薬は正しく使いましょう！ ●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●小児の手の届く所には置かないで下さい。

大地のめぐみ、まっすぐ入へ SCG GROUP

住友化学 住友化学株式会社

日本の米作りを応援したい。

全国の水稲農家の皆さまからいただく様々な声をお聴きして、これまで「DPX-84混合剤」はSU抵抗性雑草対策を実施し、田植同時処理、直播栽培など多様な場面に対応した水稲用除草剤を提供してまいりました。そしてさらに雑草防除だけでなく、育苗箱用殺虫剤「フェルテラ®」で害虫防除でも日本の米作りを応援したいと考えています。

— 今日もあなたのそばに。明日もあなたのために。

DUPONT®
The miracles of science™

デュポン株式会社 農業製品事業部 〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

デュポンオーバル®、The miracles of science TM、フェルテラ®、RYNAXYPYR®は米国デュポン社の商標および登録商標です。

自然に学び 自然を守る
クミカ
幅広く、鋭い切れ味
水稲用初・中期一発処理除草剤
ヤイバ®
1キロ粒剤
豆つぶ®250
ジャンボ
●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。
JAグループ
農協 全農 経済連
は登録商標 第4702318号
®はクミアイ化学工業(株)の登録商標
自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページ http://www.kumiai-chem.co.jp

天下無草
新登場
非選択性茎葉処理除草剤
ザクサ®
液剤
ザクサ普及会
北興化学工業株式会社
[事務局] Meiji Seika ファルマ株式会社
〒104-8002 東京都中央区京橋2-4-16
ザクサ®はMeiji Seika ファルマ(株)の登録商標